

7. 堰と周辺地域との関わり

7. 堰と周辺地域との関わり

7.1 堰周辺地域の概要

(1) 概要

加古川大堰周辺の概況を図 7.1-1に示す。

加古川はその源^{たんば 但馬}、^{はりま 播磨}の境界に連なる丹波市青垣町の栗鹿山(962m)に発し、^{とよさかかわ 遠阪川}、^{かどのがわ 葛野川}、^{かいぼらがわ 柏原川}、^{まきやまがわ 牧山川}、^{いわだにがわ 岩屋谷川}等を合わせながら氷上低地、^{ひかみていち 柏原盆地}を南流し、丹波市山南町井原において、加古川水系の支川としては最大の流域面積を有する篠山川と合流する。さらに、その後、^{すぎはらがわ 杉原川}、^{のまがわ 野間川}等を合わせ、^{にしおきし 西脇市}と^{かとうし 加東市}との市界付近より国土交通大臣管理区間を流れて^{とうじょうがわ 東条川}、^{まんがんじがわ 万願寺川}、^{みのうがわ 美嚢川}等を合わせ、加古川市、高砂市の市界において^{はりまなだ 播磨灘}に注ぐ一級河川である。

その流域面積は、約 1,730km²で兵庫県内の 11 市 3 町を包含する。

加古川の河口から約 12km 上流にある加古川大堰は、洪水の安全な流下と利水補給を目的としており、堰及びその貯水池は加古川市内に位置している。

加古川大堰へのアクセスは、公共交通機関を使用する場合、最寄駅は JR 加古川線「^{やくじんえき 厄神駅}」(加古川大堰より約 1.5km)と「^{かんのえき 神野駅}」(加古川大堰より約 1.5km)となる。公共交通機関を使用しない場合、自動車では最寄の山陽自動車「三木小野 IC」より約 8km、国道 2 号「加古川ランプ」より約 8km となる。



図 7.1-1 加古川大堰周辺の概況

(2) 人口

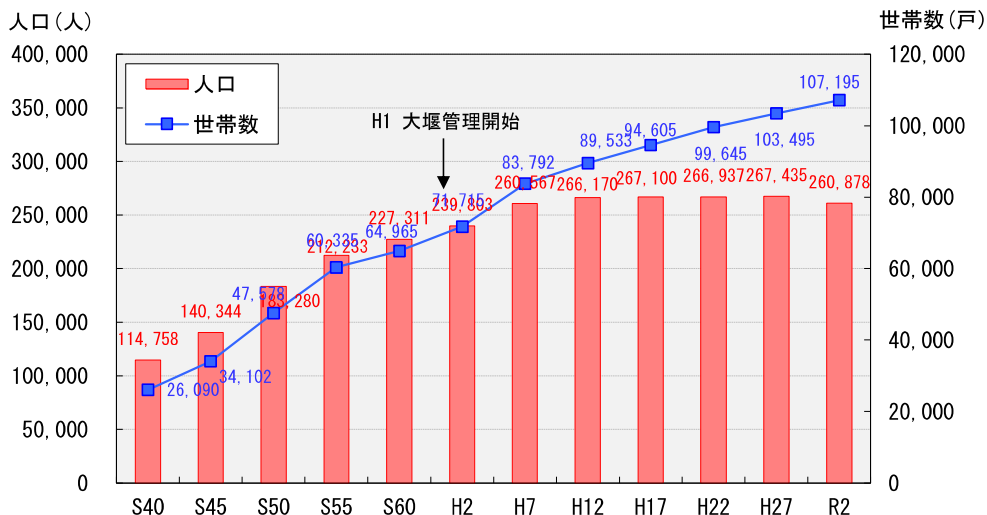
加古川大堰による用水を多く受けている自治体として加古川市及び高砂市の人口および世帯数の経年の推移を図 7.1-2に示す。

加古川市および高砂市は、大阪市より 100km 圏内、神戸市より 50km 圏内、姫路市より 20km 圏内に位置し、昭和年代から大阪都市圏の通勤圏として人口が急速に増加した。両市とも平成 7 年をピークに、以降は横ばいから減少に転じており、最新の令和 2 年の国勢調査によると加古川市は 260,878 人、高砂市は 87,722 人となっている。

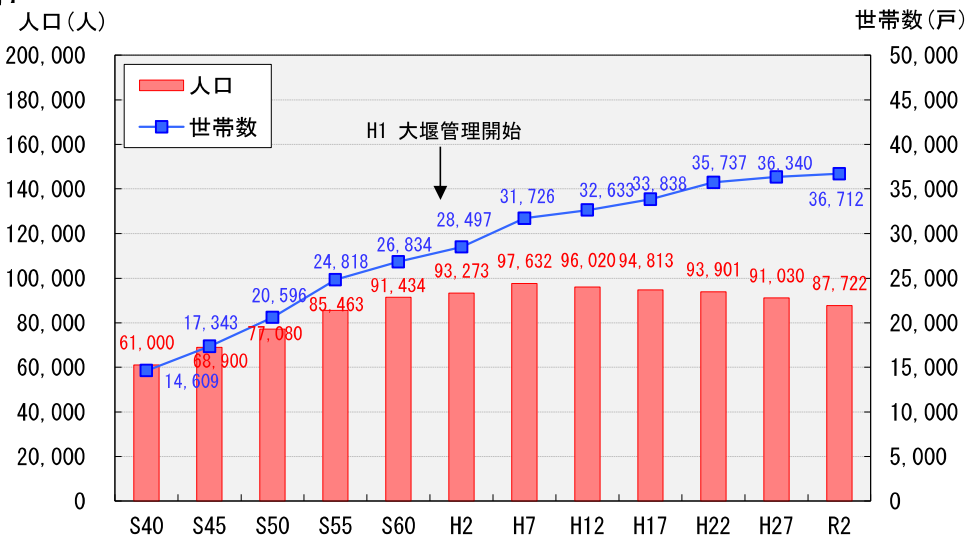
一方で、両市とも、世帯数は平成 7 年以降も増加傾向に鈍化はみられず、令和 2 年の国勢調査によると加古川市は 107,195 世帯、高砂市は 36,712 世帯となっている。

人口や世帯数の経年の推移を踏まえると、堰の流域に関連する自治体は核家族化が進んでおり、これに伴い加古川大堰より補給する水道用水の世帯個数は、増加傾向にあるものと考えられる。

【加古川市】



【高砂市】



(出典:資料 7-1)

図 7.1-2 加古川市、高砂市の人口及び世帯数の推移

(3) 産業

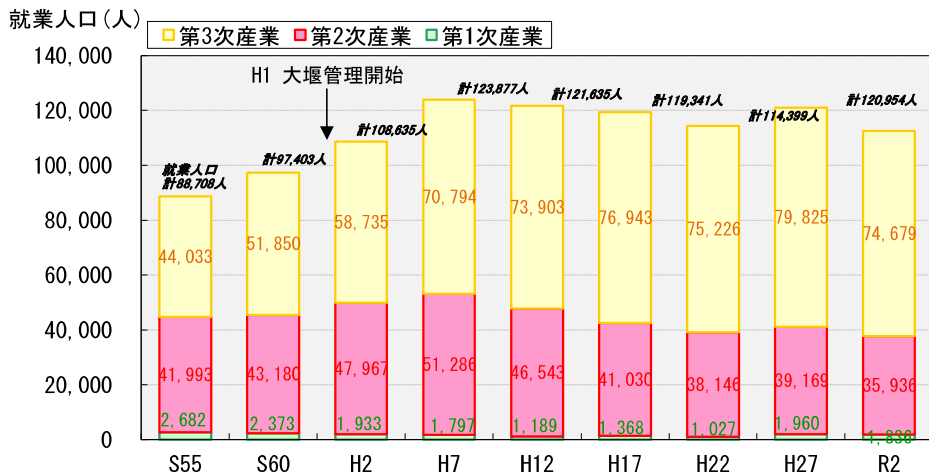
加古川市および高砂市の産業別就業人口の経年の推移を図 7.1-3に示す。

産業別では、両市とも、昭和年代より全体に占める第1次産業の就業人口は極端に少なく、第3次産業の就業人口が最も高くなっている。両市とも、第3次産業の就業人口は、平成17年をピークに、平成22年に僅かに減少したものの、平成27年で再び増加した。一方、最新の令和2年では再び減少し、加古川市が74,679人、高砂市が24,429人となっている。

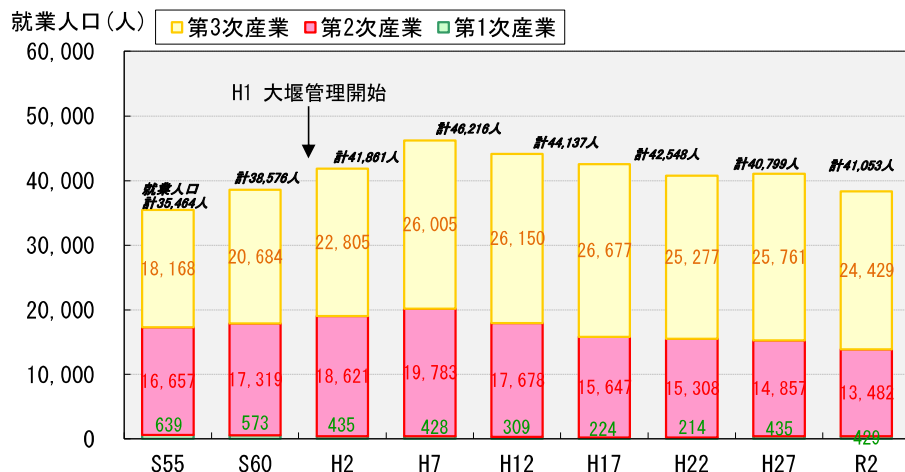
加古川大堰から工業用水を補給されている第2次産業は、管理開始以降、平成7年をピークに、以降は減少傾向に転じ、令和2年では、加古川市が35,936人、高砂市が13,482人となっている。

よって、地域の産業別就業人口動態より、大堰より補給する工業用水の需要は減少傾向にあるものと考えられる。

【加古川市】



【高砂市】



(出典:資料 7-1)

図 7.1-3 加古川市、高砂市の産業別就業人口の推移

■参考：堰周辺の小地域単位の人口動態について

加古川大堰周辺の小地域単位の概況を図 7.1-4に示す。

加古川大堰を中心に小地域単位を構成する区分は、加古川市の一部を形成する八幡町、上荘町、平荘町、神野町、新神野が該当する。これらの小地域の人口等の経年の状況を、堰を中心とした人口動態等を参考資料として整理した。



図 7.1-4 加古川大堰周辺の小地域区分の概況

1) 人口

加古川大堰周辺の小地域の人口の経年の推移を図 7.1-5に示す。

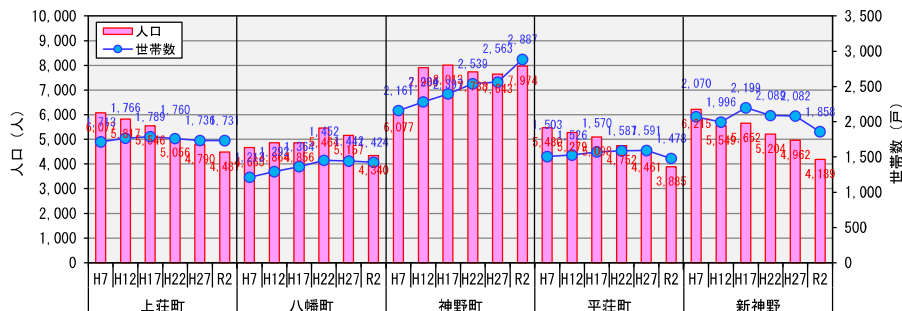
国勢調査の結果のうち、一般に統計局ホームページ (<http://www.stat.go.jp/>) 上で公開されている平成7年以降のデータを整理した。

小地域区分のうち、上荘町、平荘町、新神野は人口が調査データのある平成7年以降は減少傾向であり、八幡町は平成22年をピークに減少傾向、神野町は平成17年をピークに減少傾向であったが令和2年度では増加した。以上のことから、堰周辺の人口は減少傾向であると考えられる。

世帯数については、上荘町、平荘町、新神野で横ばいに推移、八幡町、神野町では僅かに増加傾向にあり、世帯数あたりの人口減が進んでいることが示された。

加古川市全体では、人口は横ばいに推移しているものの、世帯数は経年で増加傾向にあり、堰周辺の小地域とは人口動態に違いがみられた。堰周辺の小地域は、加古川市の中心部とは、若干の離隔もあり、加古川市の中心部への人口の集中傾向があるものと考えられた。

堰周辺の小地域の人口減少は、堰周辺の様々な地域活動に影響を及ぼす可能性が考えられる。



(出典:資料 7-1)

図 7.1-5 加古川大堰周辺の小地域の経年の人口

2) 産業

加古川大堰周辺の小地域の就業人口の経年の推移を図 7.1-6に示す。

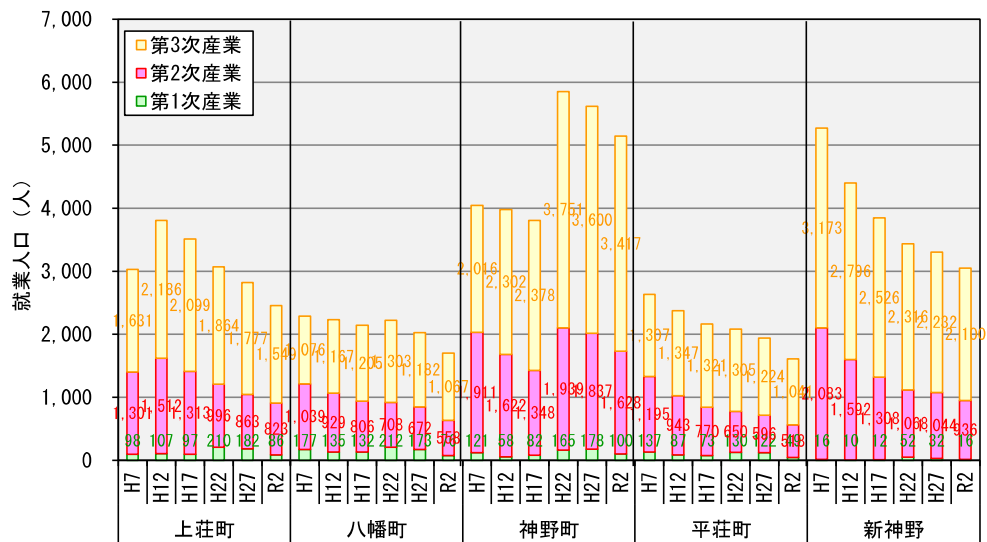
国勢調査の結果のうち、一般に統計局ホームページ (<http://www.stat.go.jp/>) 上で公開されている平成7年以降のデータを整理した。

小地域区分のうち、新神野では第2次及び第3次産業の就業人口は、統計データのある平成7年より顕著な減少傾向であり、平荘町は緩やかな減少傾向、上荘町は平成12年以降で減少傾向、八幡町は横ばいに推移しており、小地域区分毎に違いがあった。

神野町は、平成17年10月18日に、新たに石守1丁目～3丁目、福留1丁目追加（「加古川市例規集」を参照）され、平成22年に大幅に人口が増加しているが、概して、第2次及び第3次産業は、緩やかな減少傾向であると推測される。

一方で、いずれの小地域区分も第1次産業については、極めて人口は少ないものの、経年で大きな変化はなかった。

よって、堰周辺の小地域区分の就業人口動態からも、大堰より補給する工業用水の需要は減少傾向にあるものの、農業用水については、需要に大きな変化はないと考えられる。



(出典: 資料 7-1)

図 7.1-6 加古川大堰周辺の小地域の経年の就業人口

7.2 堰の立地特性

(1) アクセス性

加古川大堰周辺の交通網を図 7.2-1に示す。

加古川市は、大阪市より 100km 圏内に位置し、神戸市街より西約 50km、姫路市街より東約 20km に位置し、加古川は加古川市のほぼ中心部を貫流する河川である。

加古川大堰は、加古川の河口から 12km の地点に位置している。

加古川市は、兵庫県の瀬戸内側に位置することから、主要な交通網である山陽新幹線や山陽自動車道が、加古川市を挟むように海岸線に平行に整備されている。また、加古川沿いには JR 加古川線と県道 18 号線が整備されており、堰へのアクセス路としての機能も有する。さらに、加古川沿いでは東播磨道の整備が現在進められており、完成後は堰へのアクセス路の一つとなると考えられる。

加古川大堰へのアクセスは、電車では JR 加古川線「^{やくじん}厄神」駅から約 1.5km、「^{かんの}神野」駅から約 1.5km となっている。

自動車では、加古川バイパス加古川ランプより北へ約 8km、山陽自動車道「三木小野」インターチェンジより約 8km となっている。



図 7.2-1 加古川大堰周辺の交通網

(2) 周辺の観光施設(スポット)等の状況

加古川流域の観光施設の概要を表 7.2-1、観光施設の位置図を図 7.2-2に示す。

加古川大堰よりアクセスが容易な観光施設としては、加古川市内の「鶴林寺」、加古川河口部の「高砂海浜公園」などがある。

表 7.2-1 観光地等の概要

観光地等名称	所在地	概要
薬草薬樹公園	丹波市	園内には約 250 種類の薬草薬樹が栽培されている。オリジナルの薬草風呂、薬膳料理などを堪能できる。
みわか 水分れ公園	丹波市	降った雨が日本海側と瀬戸内海側に分れ、両方で川を形成する特殊な場所。園内には「水分れ資料館」もある。
ガルテン ^{やちよ} 八千代	多可町	フランス料理レストランを備えたレクリエーションエリア。各種スポーツや特産物の加工体験などができる。
ごひやくらかん 五百羅漢	加西市	羅漢寺の境内には、様々な顔をした 400 体以上の石仏がひしめいている。いつ誰がなぜ制作したのか、全てが謎となっている。
滝野温泉ぽかぽ	加東市	闘龍灘をイメージした浴室や、屋形船風呂、洞窟風呂など、趣向をこらした湯船を豊富に備えている。
たかさごかいひんこうえん 高砂海浜公園	高砂町	白砂青松の高砂の浜を再現した公園。釣りや潮干狩り、人口島の散策などに四季を通じて多くの人が訪れている。
かくりんじ 鶴林寺	加古川市	聖徳太子ゆかりの太子堂は、国宝に指定された県下最古の木造建築。平安時代に描かれた壁画が発見されている。
浄土寺	小野市	堂内の阿弥陀三尊像は、鎌倉時代の有名な仏師、快慶の作。本堂、三尊像のいずれも国宝に指定されている。
NESTA RESORT KOBE	三木市	約 230 万 m ² にもおよぶ広大な敷地には、1Day パスで楽しめる 40 種類以上のアクティビティをはじめ、話題のグランピングや大自然に囲まれた天然温泉など、全部で 60 以上もの施設がある。
日本へそ公園	西脇市	日本の“へそ”(中心)に位置する公園。美術館、科学館などの知的アミューズメント施設がある。
春日神社	丹波 篠山市	春日神社境内に建てられた、全国屈指の野外能舞台。春の春日能をはじめ、年 3 回、雅びな能が演じられている。

(出典:資料 7-2 を基に更新)



(出典:資料 7-2 を基に更新)

図 7.2-2 加古川流域の観光地等の位置

■参考：統計データを用いた堰周辺の観光者の動態

近 5 ヶ年の加古川大堰周辺の観光地への観光客の動態を把握するため、兵庫県が実施する観光客動態調査の公表データ (<https://web.pref.hyogo.lg.jp>) のうち、堰の周辺に位置する「東播磨地域」、「北播磨地域」、「中播磨地域」、「丹波」の 4 地域を整理した。

地域別の動態については、公表データのある平成 17 年度より整理した。

なお、地域別の動態データについても、平成 22 年度より新たな「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく算出法に切り替わっており、平成 21 年度までと、平成 22 年度以降では入込客数に算出法の違いに基づく差異が存在する。

観光地別の動態については、平成 21 年度から平成 22 年度に統計の対象となる観光地に大きな変更があるため、平成 22 年度以降の公表データのみを整理した。

1) 東播磨地域

平成 22 年度以降に統計の対象となっている「東播磨地域」の主要な観光地を表 7.2-2、主要観光地における経年観光客入込数の推移を図 7.2-3、「東播磨地域」全体の経年観光客入込数の推移を図 7.2-4 に示す。

「東播磨地域」の主要な観光地としては、「明石公園」、「大蔵海岸」、「魚の棚商店街」等が挙げられた。特に、加古川大堰の流域に関連する自治体である加古川市が対象となっているものでは、「加古川まつり」、「日岡神社」、同様に加古川大堰の流域に関連する自治体である高砂市が対象となっているものでは、「鹿島神社」が該当した。

「東播磨地域」において、平成 22 年度以降では、いずれの年も最も観光客入込数が多い観光地は「明石公園」で、全体の 50% 以上を占めていた。加古川大堰の流域に関連する自治体の加古川市では、「加古川まつり」は、年毎に観光客入込数にバラツキがあり、開催日の天候の影響を受けているものと考えられた。「日岡神社」は、年毎に観光客入込数は、概ね横ばいで推移しており、「東播磨地域」においては、「明石公園」に次ぐ観光客入込数の多い観光地であった。高砂市の「鹿島神社」の年毎の観光客入込数も、平成 23 年度を除けば、概ね横ばいに推移しており、当該地域の代表的な参拝寺社となっていた。一方、令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響もあり、全体的に観光客入込数が減少した。

なお、明石市に位置する「柿本神社」については最新の平成 27 年度以降、「魚の棚商店街」は平成 28 年度以降、「加古川まつり」は平成 29 年度以降から統計の対象外となっている。

「東播磨地域」全域での日帰りと宿泊の観光客入込数では、合計値が平成 17 年度から平成 21 年度では 1,000 万人を超える観光客入込数で推移していたが、平成 22 年度は約 900 万人となり、約 100 万人の減少となったが、前述したように観光客入込数の算出法が変更になったことに起因すると考えられる。平成 23 年度以降は、令和 2 年度を除けば、約 870 万人以上の横ばいで推移しており、大きな変化はない。日帰りと宿泊の割合をみると、日帰りの観光客入込数の割合が、大部分の約 95% を占めていた。

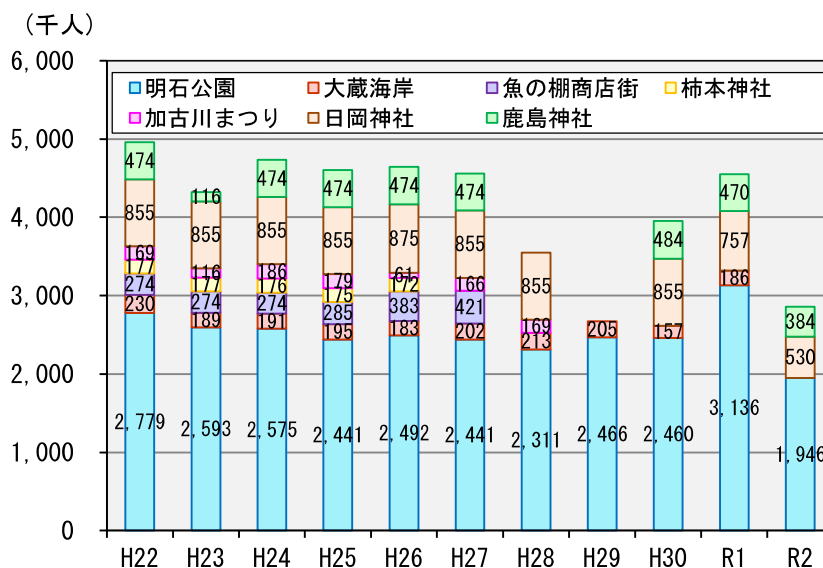
「東播磨地域」の観光客動態の整理結果を踏まえると、「東播磨地域」にある観光地への訪問者は、遠隔地の人々よりも、比較的、地域の地元の人々が多く、全体の数値が横ばいに推移している状況を踏まえると、リピーターとして利用している可能性が高いと考えられる。

表 7.2-2 (1) 東播磨地域の主要な観光地

観光地名称	所在地	概要
明石公園	明石市	赤松山台地にのこる明石城跡を中心につくられた都市公園。堀は周辺の自然環境と調和して美しく、春は桜、初夏は新緑、秋は紅葉と市街地にありながら野趣ゆたか。
大蔵海岸	明石市	明石海峡を望む絶好のロケーション。夏は海水浴やバーベキューができるほか、併設の多目的広場ではサッカーやゴルフを楽しむことができる。
魚の棚商店街	明石市	明石鯛、明石ダコ等の鮮魚、本場の「明石焼き」が人気の商店街。「まちかどコミュニケーションスペース」では、年間を通し様々なイベントや催しが行われている。
加古川まつり	加古川市	市制施行 3 周年の昭和 28 年から始まった花火大会。今では加古川の夏の一大イベントとして、最大級の規模と人気を誇っている。

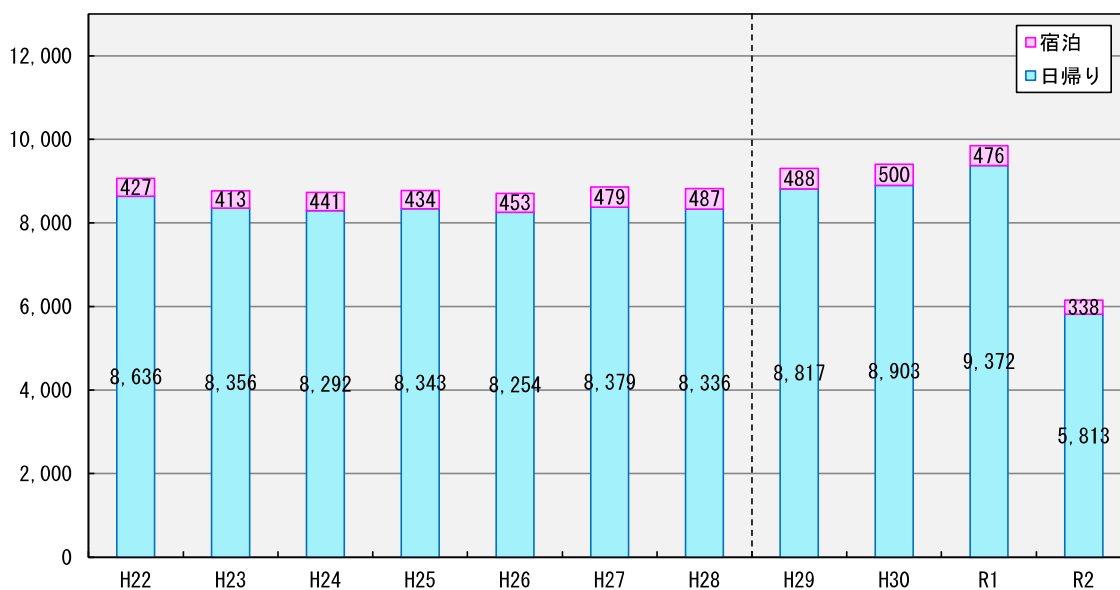
表 7.2-2 (2) 東播磨地域の主要な観光地

観光地名	所在地	概要
日岡神社	加古川市	天平の時代（約 1300 年前）の創祀といわれている神社。古来より安産の神様として崇敬されており、播州地区の各地からたくさんの人々がお参りに訪れている。
鹿島神社	高砂市	播磨の国、国分寺の東院として大日寺が建立された時その鎮護の神として奉祀された神社。心を込めてお参りする時、その願いは必ずかなえられるといわれている。



(出典:資料 7-3)

図 7.2-3 東播磨地域の主要観光地における経年観光客入込数の推移



(出典:資料 7-3)

図 7.2-4 東播磨地域の経年観光客入込数の推移

2)北播磨地域

平成 22 年度以降に統計の対象となっている「北播磨地域」の主要な観光地を表 7.2-3、主要観光地における経年観光客入込数の推移を図 7.2-5、「北播磨地域」全体の経年観光客入込数の推移を図 7.2-6に示す。

「北播磨地域」の主要な観光地としては、「三木市内ゴルフ場」、「加東市内ゴルフ場」、「三木総合防災公園」等が挙げられた。

「北播磨地域」において、平成 22 年度以降では、いずれの年も最も観光客入込数が多い観光地は、毎年 1,000 千人を超えている「三木市内ゴルフ場」であった。ただし、「三木総合防災公園」も、平成 27 年度、平成 29 年度～令和元年度については、1,000 千人を超える状況であった。

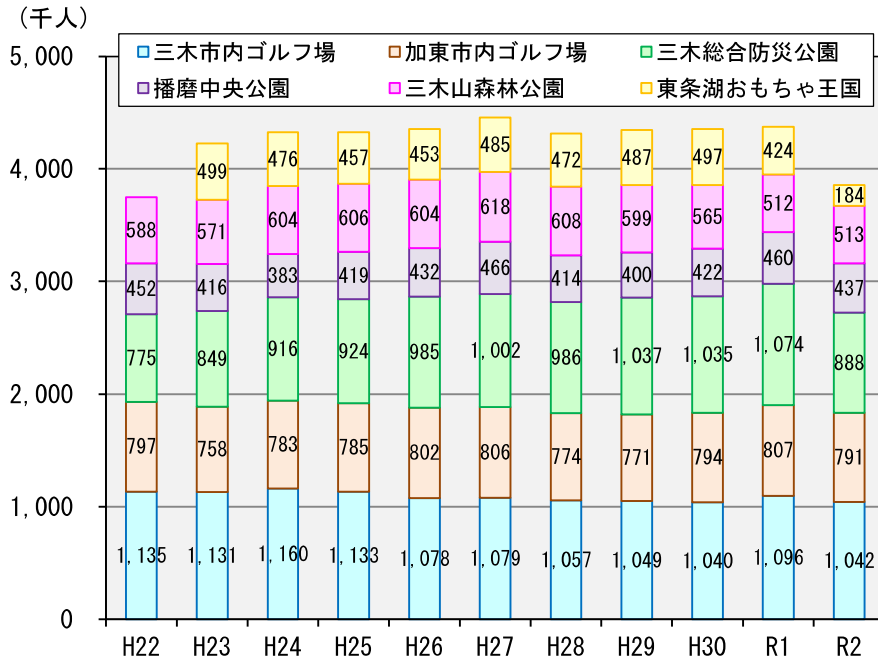
なお、「東条湖おもちゃ王国」は、平成 22 年度は統計の対象外となっている。

「北播磨地域」全域での日帰りと宿泊の観光客入込数では、合計値が、令和 2 年度を除いて 1,200 万人を超える状況で推移し、経年で大きな変化はないが、平成 21 年度以前と平成 22 年度以後では、前述したように観光客入込数の算出法が変更になっている。平成 22 年度以降は、約 1,300 万人以上の横ばいで推移している。日帰りと宿泊の割合をみると、日帰りの観光客入込数の割合が、大部分の約 95%を占めていた。

「北播磨地域」の観光客動態の整理結果を踏まえると、「東播磨地域」にある観光地への訪問者は、遠隔地の人々よりも、比較的に地域の地元の人々が多く、全体の数値が横ばいに推移している状況を踏まえると、リピーターとして利用している可能性が高いと考えられる。

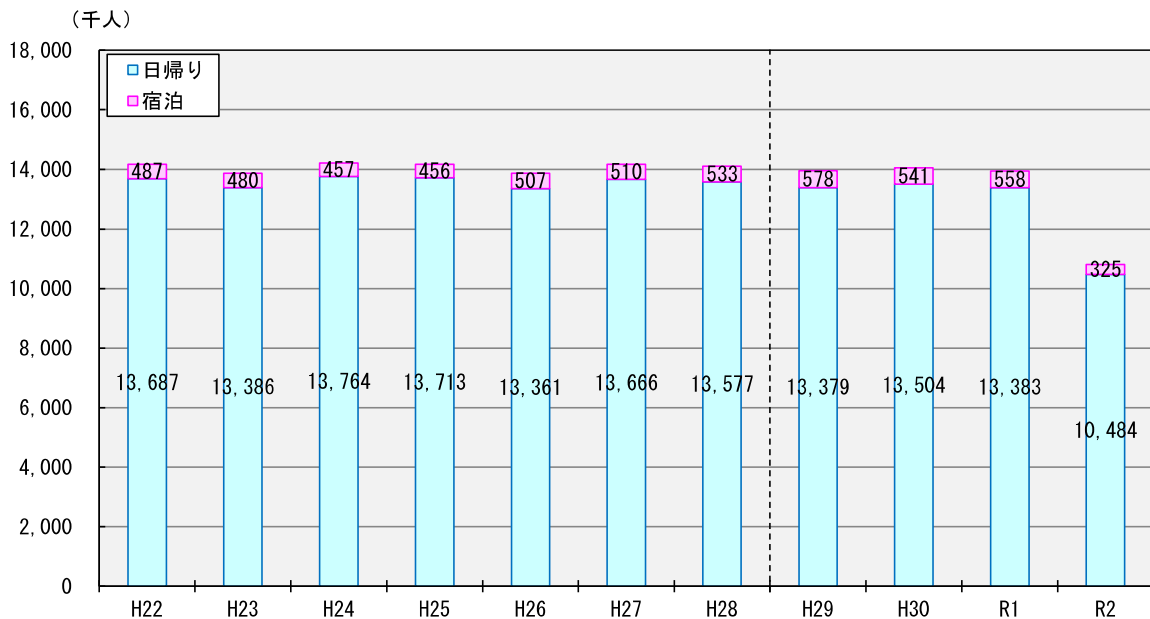
表 7.2-3 北播磨地域の主要な観光地

観光地名称	所在地	概要
三木市内ゴルフ場	三木市	三木市は西日本一のゴルフ場数を誇り、約 25 箇所ある。六甲山や丹波の山々を望むことができ、プレーしながらさまざまな景色を楽しむことができる。
加東市内ゴルフ場	加東市	大阪・神戸から車で 1 時間以内のため、年間約 80 万人ものゴルファーが訪れ、プロゴルフトーナメントも毎年開催されている。
三木総合防災公園	三木市	災害時には全県の広域防災拠点として機能する県立の広域公園。通常は県民のスポーツ・レクリエーションの拠点となっている。
播磨中央公園	加東市	緑の樹林に囲まれた丘や大小の池が散在する自然豊かな県立公園。野外ステージや運動施設だけでなく、四季の庭、子どもの森等の諸施設が整っている。
三木山森林公園	三木市	三木市の中心部にある、甲子園球場のおよそ 20 倍、80 万平方メートルの広大な公園。四季折々の豊かな自然の中で、森の大切さを肌で感じられる場所。
東条湖おもちゃ王国	加東市	子どもがワクワクするものを集めた「おもちゃ王国」。ウォーターパークのほか、約 20 種のアトラクション、9 館のおもちゃのお部屋と 3 つの遊び場が揃っている。



(出典:資料 7-3)

図 7.2-5 北播磨地域の主要観光地における経年観光客入込数の推移



(出典:資料 7-3)

図 7.2-6 北播磨地域の経年観光客入込数の推移

3)中播磨地域

平成 22 年度以降に統計の対象となっている「中播磨地域」の主要な観光地を表 7.2-4、主要観光地における経年観光客入込数の推移を図 7.2-7、「中播磨地域」全体の経年観光客入込数の推移を図 7.2-8に示す。

「中播磨地域」の主要な観光地としては、「姫路城」、「姫路市立動物園」、「姫路セントラルパーク」等が挙げられた。

「中播磨地域」において、平成 22 年度以降では、いずれの年も最も観光客入込数が多い観光地は、世界遺産にも指定されている「姫路城」で、特に平成 27 年度に「平成の修理」が終わり、城内の内部公開が再開されてため、前年度の 919 千人に対し、2,867 千人と約 3.1 倍の数値の増加がみられた。「姫路城」近くにある「姫路市立動物園」も、前年度の 487 千人に対し、759 千人と約 1.6 倍、「好古園」も、前年度の 198 千人に対し、前年度の 523 千人と約 2.6 倍と相乗効果がみられた。その後の平成 28、29 年度では「姫路城」の観光客入込数は減少し、平成 30 年度、令和元年度ではほぼ横ばいとなった。なお、令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響により、観光客入込数が減少した。

「中播磨地域」全域での日帰りと宿泊の観光客入込数では、合計値が、平成 21 年度の 1,083 万人から平成 22 年度の 866 万人と大きく減少しているが、前述したように観光客入込数の算出法が変更起因するものと考えられる。平成 22 年度以降は、平成 26 年度までは、僅かずつの増加傾向であるが、平成 27 年度に顕著に増加しており、「姫路城」の「平成の修理」後の内部公開の影響が大きく表れているものと考えられる。

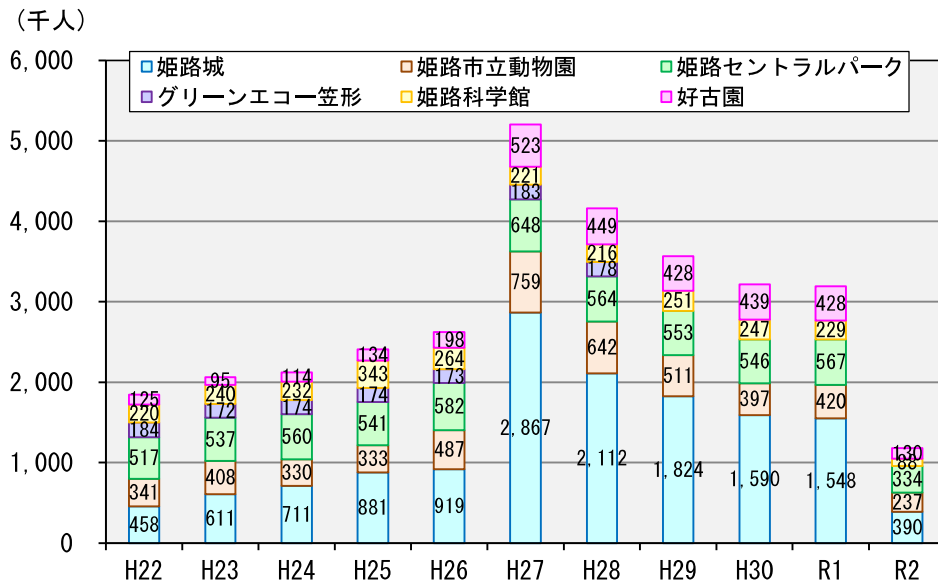
「中播磨地域」の日帰りと宿泊の割合をみると、日帰りの観光客入込数が大部分の約 95%を占めていた。

合計値が、いずれの年も 1,200 万人を超える状況で推移し、経年で大きな変化はないが、平成 21 年度以前と平成 22 年度以後では、前述したように観光客入込数の算出法が変更になっている。平成 22 年度以降は、約 1,300 万人以上の横ばいで推移しており、大きな変化はない。日帰りと宿泊の割合をみると、平成 22 年度以降では日帰りの観光客入込数の割合が 65.5%から 91.6%と、他の地域と比べ低く、遠隔地からの訪問者も多いことを示唆していた。

「中播磨地域」の観光客動態の整理結果を踏まえると、「中播磨地域」にある観光地への訪問者は、地域の地元の人々に加え、遠隔地の人々も比較的によく、当該地区を訪問しており、特に、地域の観光状況には、世界遺産である「姫路城」の存在が非常に大きいと考えられた。

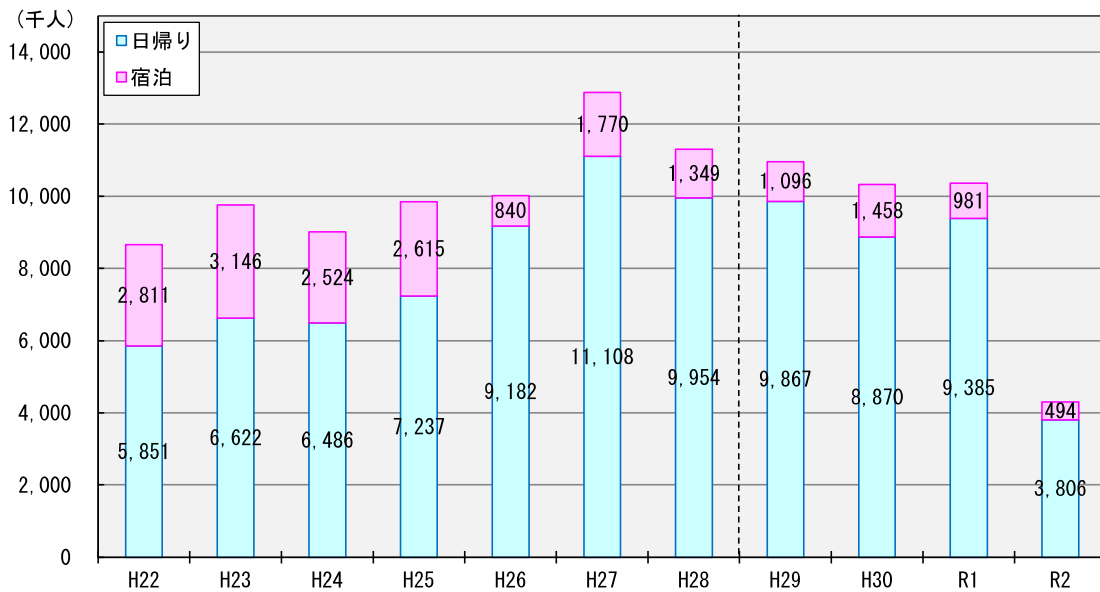
表 7.2-4 中播磨地域の主要な観光地

観光地名称	所在地	概要
姫路城	姫路市	平成5年12月奈良の法隆寺とともに日本で初の世界文化遺産となった。「平成の修理」が終わった今、多くの観光客を集めている。
姫路市立動物園	姫路市	「お城の中の動物園」として年配の方から子どもまで親しまれている。子どもを対象とした遊戯施設も多く設置されている。
姫路セントラルパーク	姫路市	サファリパークと遊園地の複合施設。園内にはプールやアイススケート場もあり、様々な楽しみ方ができるレジャー施設となっている。
グリーンエコー笠形	神河町	キャンプ場やウッドハウス、コテージ、多目的グラウンド、体育館のほか、光明石準天然温泉と設備が充実した施設。四季折々のアウトドアイベントで賑わう。
姫路科学館	姫路市	たくさんのオリジナル展示装置で「実験体験」し、実物資料で「本物体験」ができる科学館。世界最大級直径 27m のドームをもつプラネタリウムで満天の星も楽しめる。
好古園	姫路市	世界遺産・姫路城を借景にした本格的な日本庭園。江戸の情緒を醸し出すそのたたずまいは時代劇や大河ドラマのロケ地としても使われている。



(出典:資料 7-3)

図 7.2-7 中播磨地域の主要観光地における経年観光客入込数の推移



(出典:資料 7-3)

図 7.2-8 中播磨地域の経年観光客入込数の推移

4) 丹波

平成 22 年度以降に統計の対象となっている「丹波地域」の主要な観光地を表 7.2-5、主要観光地における経年観光客入込数の推移を図 7.2-9、「丹波地域」全体の経年観光客入込数の推移を図 7.2-10に示す。

「丹波地域」の主要な観光地としては、「丹波年輪の里」、「丹波の森公苑」、「道の駅丹波おばあちゃんの里」等が挙げられた。

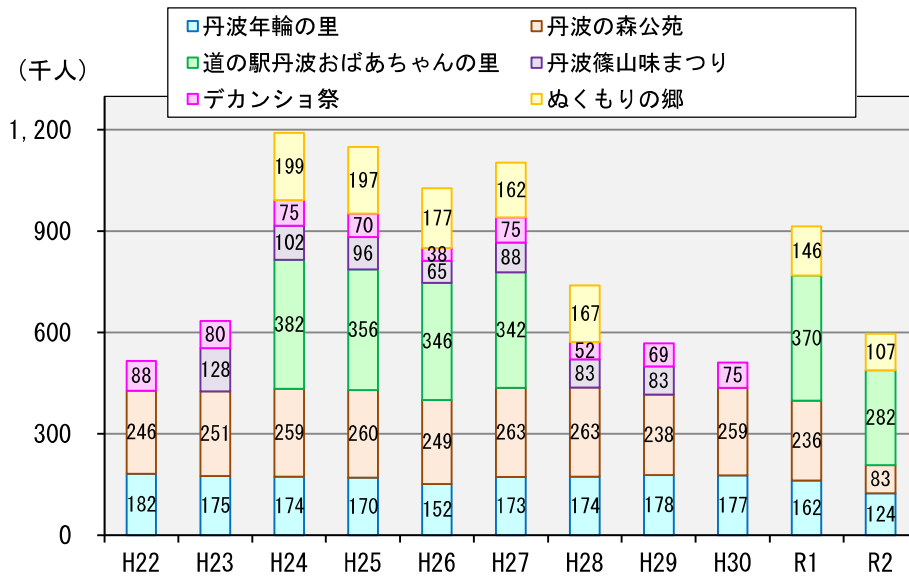
「丹波地域」においては、「道の駅丹波おばあちゃんの里」が、平成 24 年度以降、統計の対象となり、以降、観光客入込数が 340 千人を超える状況で推移しており、統計の対象となっている年度に限り、当該地域内では最も高い数値であった。「丹波の森公苑」では当該地域内では 230 千人を超える状況で、「道の駅丹波おばあちゃんの里」に次いで高い数値であった。しかし、令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響により、全体的に観光客入込数が減少する傾向がみられた。

「丹波地域」全域での日帰りと宿泊の観光客入込数では、合計値が平成 17 年度から平成 21 年度では 500 万人を超える観光客入込数で推移していたが、平成 22 年度は約 430～440 万人となり、約 60～70 万人の減少となったが、前述したように観光客入込数の算出法が変更になったことに起因すると考えられる。平成 28 年度以降は、観光客入込数の増加傾向がみられたが、令和 2 年度では新型コロナウイルスの影響により大きく減少した。日帰りと宿泊の割合をみると、日帰りの観光客入込数の割合が、大部分の約 95%を占めていた。

「丹波地域」の観光客動態の整理結果を踏まえると、「丹波地域」にある観光地への訪問者は、遠隔地の人々よりも、比較的に地域の地元の人々が多く、全体の数値が横ばいに推移している状況を踏まえると、リピーターとして利用している可能性が高いと考えられる。

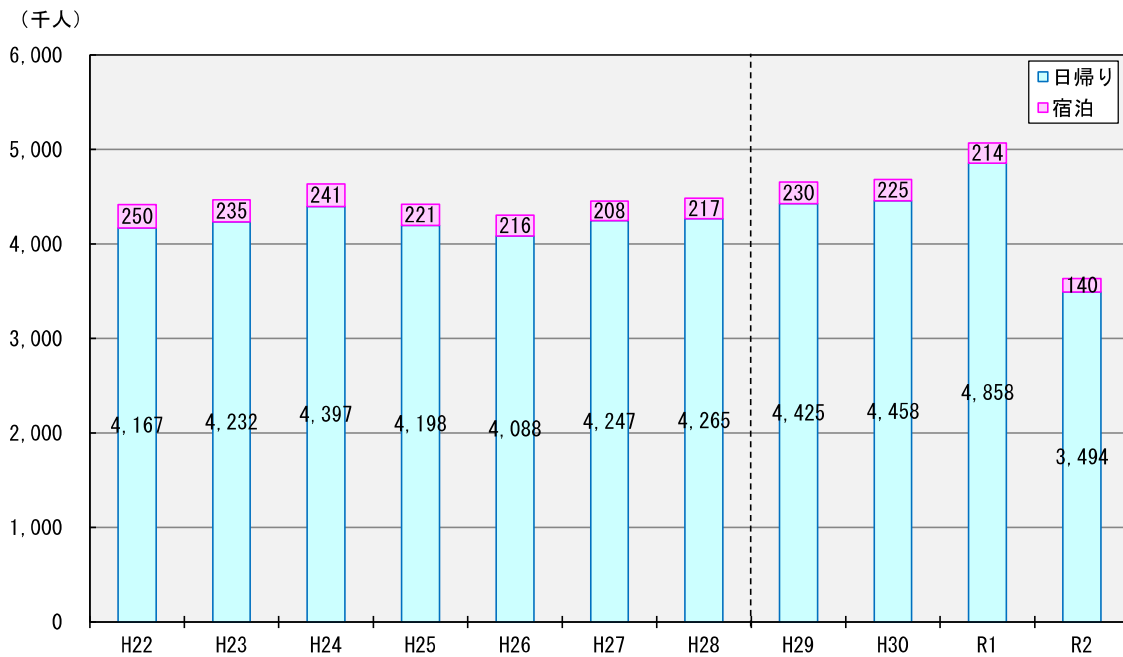
表 7.2-5 丹波地域の主要な観光地

観光地名称	所在地	概要
丹波年輪の里	丹波市	木とのふれあえるクラフトなどの文化活動や、スポーツ・レクリエーション活動のできる場。他、兵庫県と交流のあるロシアのハバロフスク地方の資料等を展示。
丹波の森公苑	丹波市	兵庫県が設置した広域拠点で、アトリエや生活創造センターなど真の豊かさの実現に向けたライフスタイルの創造や地域づくりを支援している。
道の駅丹波おばあちゃんの里	丹波市	癒し、健康・環境がテーマの丹波市の玄関口の施設。「来る人に安らぎを、住む人にうるおいを」を与える、誰もが親しめる賑わいの場となっている。
丹波篠山味まつり	丹波篠山市	毎年「丹波篠山黒大豆」がみのる時期に開催する、篠山の味覚を堪能できるイベント。味覚だけでなく、歴史が色濃く残る町なみや緑あふれる景色が楽しめる。
デカンショ祭	丹波篠山市	毎年 8 月に開催される約 60 年続いている祭。祭りの際に歌われる「デカンショ節」の総踊りが特徴。
ぬくもりの郷	丹波篠山市	源泉掛け流しのこんだ薬師温泉に農業公園を併設している施設。農業公園は無料で利用することができ、ハイキングやピクニックを楽しむことができる。



(出典:資料 7-3)

図 7.2-9 丹波地域の主要観光地における経年観光客入込数の推移



(出典:資料 7-3)

図 7.2-10 丹波地域の経年観光客入込数の推移

5)まとめ

加古川大堰周辺では、姫路市に位置する世界遺産の「姫路城」が最大の観光地であり、「平成の改修」を終えた平成 27 年以降は、地域の人々のみならず、遠隔地の人々も多く集客しており、周辺への影響も大きいものと考えられる。ただし、加古川大堰の流域自治体である加古川市や高砂市までへの影響は及んでいない可能性が高い。

加古川大堰の流域自治体である加古川市および高砂市が含まれる「東播磨地域」の観光地は、地域の人々を中心に集客しており、観光地への訪問者数にも大きな変化はないため、観光地を訪問する人々には、リピーターも多い状況である可能性が高い。

加古川大堰周辺の広域での観光客数は、新型コロナウイルスが流行した令和 2 年度を除けば減少傾向はなく、「中播磨地域」を除き、日帰り可能な広域地域内での往来に限定される傾向がみられる。

7.3 堰事業と地域社会情勢の変遷

加古川大堰関連事業と地域社会情勢との変遷の概況を表 7.3-1に示す。

加古川市の社会基盤整備は、昭和 40 年代頃までに急速に進められ、加古川大堰の建設も昭和 50 年代より開始している。

平成元年に加古川大堰が管理を開始してからは、貯水池を利用した漕艇利用(レガッタなど)や加古川河川敷を利用したイベント活動(マラソン大会、ウォーキング大会等)も盛んに行われている。

表 7.3-1 (1) 加古川大堰事業と地域(加古川市)社会情勢の変遷

年	加古川大堰関連事業	住民活動・交流活動 地域の出来事	その他
昭和 40 年 代まで	S25		6 月 加古川市 市制施行
	S27		7 月 豪雨による水害(床上・床下浸水 2,918 戸)
	S28	8 月 第 1 回川まつり開催	4 月 上水道の給水はじまる
	S33		4 月 山陽本線、明石~姫路間電化 開通
	S35		4 月 上荘橋竣工
	S40		9 月 台風 23 号襲来、災害救助法 適用
	S41		7 月 加古川工業用水道平荘湖竣 工
	S42		1 月 臨海部の埋め立てはじまる
	S43	3 月 予備調査実施	
S45			3 月 播磨国道(加古川バイパス) 開通
S50 ~60 年代	S51		12 月 加古川河川敷公園内のテ ニス、バレーコート開放 12 月 第 1 回農業祭
	S54	2 月 実施計画調査	
	S55	11 月 工事用道路付替工事を 開始	
	S56	3 月 基本計画告示 11 月 大堰本体工事着手	
	S59	10 月 本体が概成する	
	S60	10 月 美の川落差工築造工事 の着手 11 月 草谷川水門築造工事に 着手	
	S61	11 月 五ヶ井堰の撤去工事に 着手	
S62	4 月 試験湛水を開始		
平成元年 ~	H 元	4 月 加古川大堰管理開始 7 月 竣工式	
	H2		2 月 第 1 回加古川マラソン大会 を開催 11 月 第 1 回加古川ツデーマー チを開催 11 月 第 1 回関西学生・加古川レ ガッタを開催
	H6		11 月 ツデーマーチを日本マ ーチングリーグ公式大会として 開催
	H7		8 月 「全国川サミット in 加古川」 を開催 1 月 阪神・淡路大震災が発生
	H8		4 月 加古川大堰右岸に加古川市 立漕艇センターを開設
	H12		6 月 ウェルネス都市を宣言 6 月 加古川河口付近の土砂採掘 工事を開始
	H13		1 月 2 世紀マラソンを開催
	H17		3 月 JR 山陽本線等の加古川駅周 辺の高架化が完成

表 7.3-1 (2) 加古川大堰事業と地域(加古川市)社会情勢の変遷

年	加古川大堰関連事業	住民活動・交流活動 地域の出来事	その他
H24	4月 「曇川排水機場」を新築移転	8月 「加古川まつり花火大会」を開催	7月 「加古川みなもロード」活用に期間限定の助成金を初めて支給
H26		6月 加古川上流から下流にかけてウナギを800匹放流 12月 加古川上流でヘラブナを2万匹放流	
H28	8月 新「曇川排水機場」が完成 12月 城山排水池を更新 3月 土砂の採掘工事のため、加古川大堰放流	11月 「加古川 BBQ フェス」が初開催	
H29	5月 加古川大堰貯水池内にて浚渫工事を実施	12月 東播磨インフラツアーを開催	12月 加古川市が舞台のシティプロモーション映画「36.8℃」を制作
H30	2月 加古川・揖保川に危機管理型水位計を設置		7月 平成30年7月豪雨が発生
R1		12月 ミズベリングプロジェクトの一環として「ココカフェ」を開催	
R3	3月加古川水系濁水対応タイムラインの試行運用を開始		

※平成29年度は「加古川大堰管理総合評価業務 報告書(平成30年3月)」より引用

(出典:資料7-4, 7-5, 7-10)

7.4 堰と地域の関わりに関する評価

7.4.1 地域における堰の位置づけに関する整理

(1) 加古川市総合計画(令和3年版)

加古川市では、平成32年を目標年次とした「加古川市総合計画」を平成22年3月に策定し、その後の平成28年3月、ならびに令和3年3月に、人口減少社会の到来や少子高齢化の進行等の重要な課題を踏まえ、見直しを行い、新たな総合計画を策定している。

加古川大堰に関わる内容として、「安全で良質な水道水の供給」、「スポーツ・レクリエーション活動の推進」が挙げられており、加古川および加古川大堰が、今後の加古川市にとって重要な役割を担っていると考えられる。

1) 安全で良質な水道水の供給

加古川市総合計画における「安全で良質な水道水の供給」に係る該当ページを図7.4-1に示す。

加古川大堰から取水した水を水源の一部として市内に水供給を行う「中西条浄水場」を含む水道施設について、水道施設の更新や耐震化など計画的な施設整備や効率的な事業経営を推進することで、安全で良好な水道水の供給をめざしている。

また、後期総合基本計画での大きな改正点は、まちづくりの指標が、前期は数値目標が設定されていたのに対し、数値目標が設定されていない点である。

◎ 安全で良質な水道水の供給

基本方針

安全で良質な水道水を安定的に供給するため、水源から蛇口までの水道管理を行うとともに持続可能な事業経営を推進します。

施策の方向性(現状と課題)

- 安定した水道水の供給
高度経済成長等による都市化の急激な進展に伴い整備した、浄水場や配水管等の水道施設の老朽化が進む中、計画的な整備更新を進めるとともに、大規模地震の発生に備え、施設の耐震化を図る必要があります。
また、大規模災害発生時においても、避難所において、いち早く水道水が利用できるよう災害用心急給水栓の設置等に取り組んでいます。
今後、広域的な自治体間連携を推進し、応援協力体制の構築を進める必要があります。
- 健全な事業経営の推進
給水人口の減少に伴い、水需要の減少が見込まれる一方で、老朽化が進む施設の更新や耐震化を進めるためには、多額の費用が必要になります。
そのため、経営基盤の強化を図るため、民間活力の導入や広域連携の推進など、中長期的な視点での経営に取り組む必要があります。

中西条浄水場

加古川市総合計画 p102
- 第12章 各施策の基本方針
- 第2節 各施策の基本方針
- 4 快適なまち
- (2) 安全で良質な水道水の供給
- ⑤ 安全で良質な水道水の供給
より

(出典:資料 7-5)

図 7.4-1 安全で良質な水道水の供給に関する計画(総合計画より転記)

2) スポーツ・レクリエーション活動の推進

加古川総合計画における「スポーツ・レクリエーション活動の推進」に係る該当ページを図7.4-2に示す。

「心豊かに暮らせるまちをめざして」の各論のうち、スポーツや文化・芸術の振興に関する計画において、加古川大堰周辺や貯水池が利用される「加古川ツーデーマーチ」、「加古川マラソン」、「加古川市民レガッタ」などのイベントの開催を通じ、市民の健康づくりや余暇活動の充実に努めていることが述べられている。

今後もスポーツ・レクリエーション活動の普及・促進やスポーツ・レクリエーション施設の整備・活用が施策として掲げられており、加古川大堰は、今後も地域におけるスポーツ拠点として重要な役割を担い、憩いの場、交流の場として活用されることが期待されている。

また、後期総合基本計画での大きな改正点は、まちづくりの指標が、前期は指標が2項目設定されていたのに対し、後期は1項目になっている。目標値の変更はない。

※SDGs該当項目:
「数字で示す」目標と施策を
 加古川総合計画の施策番号より

(3) スポーツや文化・芸術を振興する

① スポーツ・レクリエーション活動の推進

基本方針

市民誰もがスポーツを通じて、いきいきと過ごすことができる社会を実現するため、スポーツやレクリエーション活動の活性化を促進するとともに、スポーツボランティアの確保や養成、スポーツ・レクリエーション施設の利用促進を図ります。

施策の方向性(現状と課題)

- **スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進**
 本市では、障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツやレクリエーションを楽しむことができるよう、各種団体との連携・協力のもと、スポーツイベントやスポーツ教室を開催するとともに、トップアスリートとふれあう機会を創出するなど、「みる」スポーツの充実にも取り組んでいます。
 それぞれの年齢や体力、目的に応じてスポーツに親しむことは、充実した人生を送るうえで重要であり、スポーツ参画人口をさらに拡大していくことが大切です。
- **スポーツボランティアの確保・養成**
 平成28(2016)年に実施した本市のスポーツ振興に関する市民アンケートによると、運動・スポーツに関するボランティア活動に参加した人の割合は10%以下であり、スポーツを「ささえる」人が少ない状況にあります。
 本市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、スポーツボランティアの育成に取り組んでいます。
 今後、スポーツやレクリエーションをさらに普及させるために、ボランティアの体制づくりに取り組むとともに、ボランティアが活躍する場を創出することが重要です。
- **スポーツ・レクリエーション施設の利用促進**
 誰もがスポーツに参加できる環境づくりを進めるため、スポーツ施設の利用環境の向上を図るとともに、スポーツ・レクリエーションに関する情報の効果的な発信などに努めることが重要です。



加古川市総合計画 p68
 ー第12章 各施策の基本方針
 ー第2節 各施策の基本方針
 ー1 心豊かに暮らせるまち
 ー(3) スポーツや文化・芸術を振興する
 ー① スポーツ・レクリエーション活動の推進
 より



加古川市民レガッタ

(出典:資料 7-5)

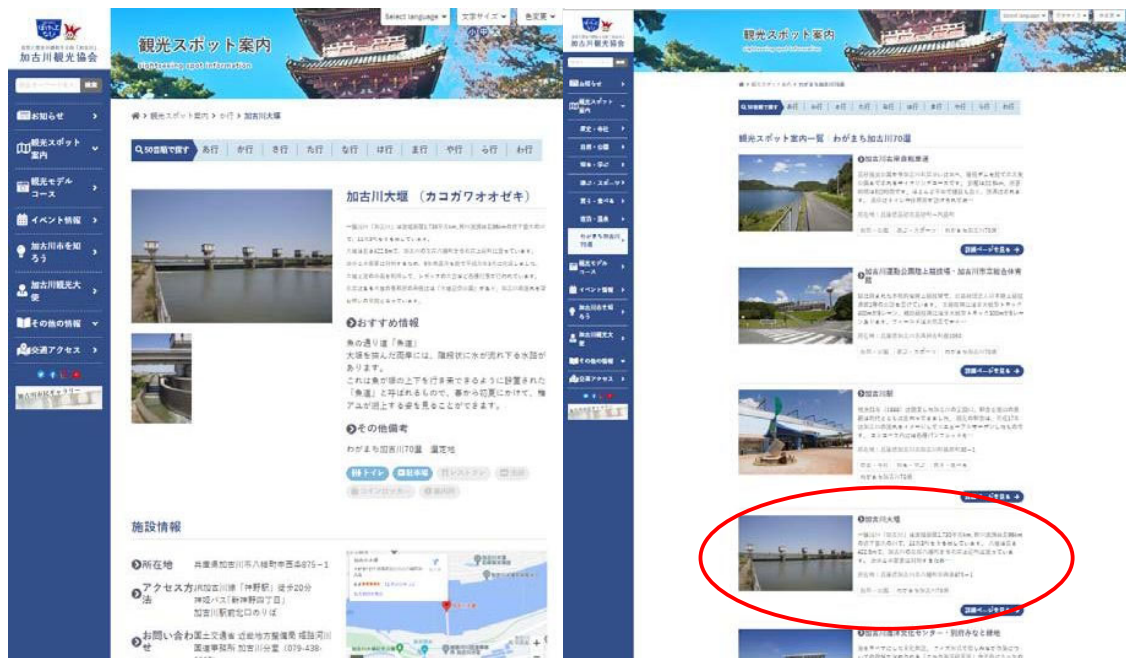
図 7.4-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進に関する計画(総合計画より転記)

(2) わがまち加古川 70 選

加古川観光協会ホームページ (https://kako-navi.jp/spot) で紹介されている加古川大堰の紹介の様子を図 7.4-3 に示す。

加古川市では、「わがまち加古川 70 選」として、市民が自慢できる自然や街角、うるおいとやすらぎが感じられる場所を選んだ場所の一つとして、加古川大堰を選定している。加古川観光協会が公開するホームページ (http://kako-navi.jp/) で、加古川市の観光地 (スポット) 案内の中で、「加古川大堰」が紹介されている。

加古川大堰は、地域の観光資源としても認識、位置付けられている。



【ホームページでの加古川大堰の紹介文】
 一級河川「加古川」は流域面積 1,730 平方 km、幹川流路延長 96km の県下最大の川で、11 市 3 町をうるおしています。大堰は長さ 422.5m で、加古川の左岸八幡町から右岸上荘町に渡っています。治水と水需要に対処するため、9 年の歳月を経て平成元年 3 月に完成しました。大堰上流の水面を利用して、レガッタの大会など各種行事が行われています。左岸にある大堰の事務所の南側には「大堰記念公園」があり、加古川の流れを望む憩いの空間となっています。

(出典: 資料 7-6)

図 7.4-3 加古川観光協会ホームページにおける加古川大堰の紹介の様子

(3) 地域における堰の位置づけに関する整理

地域における加古川大堰の位置づけの概念図を図 7.4-4 に示す。

加古川市は、平成 22 年に策定（平成 28 年、令和 3 年見直し）した「加古川市総合計画」の中で、基本理念について、従来の「ひと・まち・自然を大切にし、ともにはぐくむまちづくり」から、将来の都市像を踏まえ、「いつまでも住み続けたいウェルネス都市 加古川」へと位置付けている。

「加古川市総合計画」の中で、加古川大堰に係る具体的な記載はないものの、総合計画の主旨より、安全で良質な水道水の供給やスポーツ・レクリエーション活動の推進では、大堰は重要な役割を担っており、地域への貢献が要望されるものと考えられる。

よって、加古川大堰は、地域への重要な水供給源として機能するだけでなく、河川敷や湖面など地域の憩いの場、交流の場としての役割を果たすべく、日常の管理を通じ貢献してゆく必要がある。

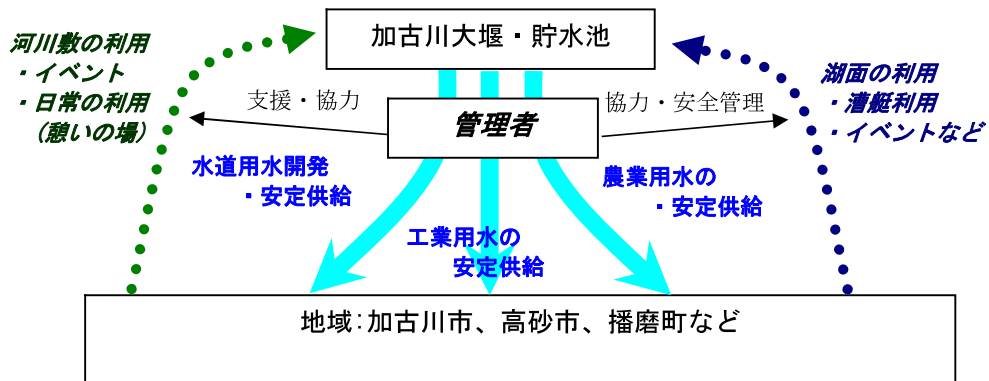


図 7.4-4 地域における加古川大堰の位置づけ

7.4.2 地域と堰管理者の関わり

(1) イベントの開催・協力

近5カ年の加古川大堰周辺でのイベントの開催状況を表7.4-1に、堰周辺で実施されたイベントの様子を図7.4-5に示す。

加古川大堰周辺では、毎年多くのイベントが開催されており、堰の貯水池を利用した漕艇のイベントも数多く開催されている。漕艇のイベントとして、代表的なものは、加古川市民を含む一般市民団体が参加する「加古川市民レガッタ」や学生の選手権大会でもある「加古川レガッタ」等が挙げられる。

堰管理者は、イベント会場を提供するだけでなく、運営協力、安全管理などを行い、主催者や地域との連携を図っている。なお、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのイベントが中止となった。

表 7.4-1 加古川大堰貯水池を利用したイベント実施状況(平成29年度～令和3年度実績)

開催年	開催日	イベント名	参加人数	主催
H29	6/11	第7回KAKOGAWAスプリングカップボート大会with 県民大会～全国市町村交流レガッタ出場選抜大会	320人	加古川市立漕艇センター・ 兵庫県ボート協会・加古川ボート協会
	7/22	環境学習 生き物調査 in 加古川大堰 ～加古川の魚を観察しよう～	66人	国土交通省姫路河川国道事務所
	7/29～7/30	第24回加古川市民レガッタ	1,000人	加古川市レガッタ事業実行委員会
	8/26	第11回関西熱化学グループレガッタ大会	570人	関西熱化学株式会社
	9/10	第71回兵庫県民大会 兼第5回加古川ボート協会会長杯大会 ～ムサシ杯スカルスレース	150人	兵庫県ボート協会・加古川ボート協会
	10/1	第8回 KAKOGAWAオータムカップボート大会with 県民大会	200人	加古川市立漕艇センター・ 兵庫県ボート協会
	11/3～11/5	第28回関西学生秋季選手権加古川レガッタ	3,150人	加古川市レガッタ事業実行委員会
	11/10～11/11	第29回加古川ツーデーマーチ	8,398人	加古川ツーデーマーチ実行委員会
H30	12/23	第29回加古川マラソン	6,470人	加古川マラソン大会実行委員会
	4/22	第7回KAKOGAWAスプリングカップボート	270人	加古川市立漕艇センター・ 加古川ボート協会
	6/3	第72回兵庫県民大会 兼 第19回加古川市長杯ボート競技大会	266人	加古川市立漕艇センター・ 兵庫県ボート協会・加古川ボート協会
	8/4～8/5	第25回加古川市民レガッタ	2,400人	加古川市レガッタ事業実行委員会
	10/14	第9回 KAKOGAWAオータムカップボート大会	230人	加古川市立漕艇センター・ 兵庫県ボート協会
	11/2～11/4	第29回関西学生秋季選手権加古川レガッタ	3,070人	加古川市レガッタ事業実行委員会
	11/10～11/11	第29回加古川ツーデーマーチ	8,398人	加古川ツーデーマーチ実行委員会
R01	12/23	第30回加古川マラソン	5,428人	加古川マラソン大会実行委員会
	4/21	第9回 KAKOGAWAスプリングカップボート大会	160人	加古川市立漕艇センター・ 加古川ボート協会
	6/9	第73回兵庫県民大会 兼 第20回加古川市長杯ボート競技大会	192人	加古川市立漕艇センター・ 兵庫県ボート協会・加古川ボート協会
	7/28	環境学習 生き物調査 in 加古川大堰 ～加古川の魚を観察しよう～	160人	国土交通省姫路河川国道事務所
	8/3～8/4	第26回加古川市民レガッタ	700人	加古川市レガッタ事業実行委員会
	8/24	第15回関西熱化学グループレガッタ大会	360人	関西熱化学株式会社
	9/8	第7回加古川ボート協会会長杯大会	71人	兵庫県ボート協会・加古川ボート協会
R02	11/1～11/3	第30回関西学生秋季選手権加古川レガッタ	510人	加古川市レガッタ事業実行委員会
	12/22	第31回加古川マラソン	5,152人	加古川マラソン大会実行委員会
R03	9/20	サマーフェスティバル in 加古川大堰 ～加古川の良さをみんなで学ぼう～	52人	加古川の河川環境を守る会(加古川 漁業協同組合) こころ豊かな人づくり500人委員東 播磨08会
R03	10/3	～サマーフェスティバルin加古川大堰～ 「川のいろいろな生き物を発見！」	120人	加古川の河川環境を守る会(加古川 漁業協同組合) こころ豊かな人づくり500人委員 東播磨08会 姫路河川国道事務所

(出典:資料7-7)

■加古川市民レガッタ



令和元年度の加古川漕艇センターの利用状況

- ・年5回のイベントで約6,200人が利用。
- ・主なイベントは、「第26回 加古川市民レガッタ」、「第30回 関西学生秋季選手権加古川レガッタ」等。

■加古川マラソン



平成元年度の実施状況

- ・加古川マラソンは31回目で、5,152人^{*}が参加。
- ※数値は、「平成元年度版 加古川市統計書」を参照。

■加古川ツデーマーチ



※「広報かこがわ 平成31年1月」より掲載。

令和元年度の実施状況

- ・加古川ツデーマーチは29回目で、8,398人^{*}が参加。
- ※数値は、「平成28年度版 加古川市統計書」を参照。
- ・ツデーマーチは、加古川河川敷マラソンコース（加古川みなもロード）を活用したウォーキングイベント。

(出典:資料7-7)

図 7.4-5 (1) 加古川大堰周辺でのイベントの様子 (令和元年度)

○加古川ツーデーマーチ



※「広報かがわ 平成31年1月」より掲載。

○環境学習会



○環境学習会の概要

- ・加古川水系河川整備計画に基づく、地域連携プログラムによる加古川市在住の小学生とその保護者、加古川の河川環境を守る会、こころ豊かな人づくり500人委員東播磨OB会、国土交通省の合同の水生物調査。
- ・加古川大堰とその下流で実施。

(出典:資料 7-8)

図 7.4-5 (2) 加古川大堰でのイベントの様子

○加古川マラソン



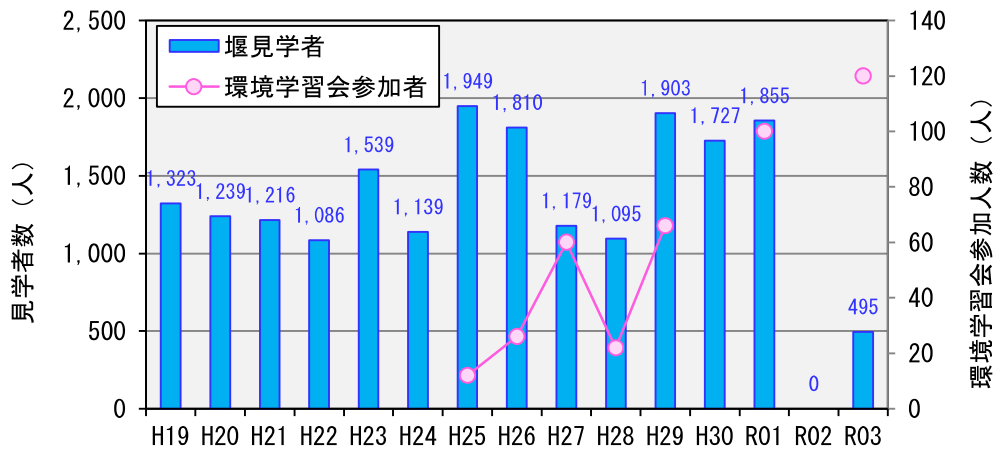
※「広報かがわ 平成31年2月」より掲載。

(2) 見学会の実施

加古川大堰への見学者数等の経年の推移を図 7.4-6 に、見学会の様子を図 7.4-7 に示す。

加古川大堰周辺にある小中学校では、堰への見学会を、総合学習の一環と位置付けており、毎年、多くの生徒の訪問を受け入れている。平成 28 年度では、平岡小学校、陵北小学校、尾上小学校等の 14 学校に対して、見学会を受け入れており、年毎の延べ見学者数は、年により人数に増減はあるものの、令和元年度までは 1,000 人以上を超える状況が続いていた。令和 2 年以降では新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言発令中において見学受入を休止していたため見学者数が大幅に減少した。

加古川大堰では、見学者の年齢に応じて、「利水・治水」としての役割や機能、地域における位置付け等をわかりやすく説明するよう心掛けている。大堰が「水の大切さ」、「環境の大切さ」を学ぶ地域の場として機能することが重要と考えている。



※環境学習会は、見学会とは別途に、地域の河川への関心の向上および環境情報の蓄積に寄与することを目的に、地域と連携・協働して、平成 25 年度より開催している。

(出典:資料 7-7、7-9)

図 7.4-6 加古川大堰の見学者数の推移 (平成 19 年～令和 3 年)



令和 3 年度の主な実績：計 495 名 (小学校：3 校、高等学校：1 校)

(出典:資料 7-7)

図 7.4-7 加古川大堰での見学会の様子

(3) 環境学習会の実施

環境学習会開催の案内例を図 7.4-8 に、環境学習会の様子を図 7.4-9 に示す。

加古川大堰では、平成 25 年度より、大堰周辺の環境把握において地域と連携した調査を実施することにより、地域の環境学習の推進と協働した環境調査の実施、地域の河川への関心と啓発及び環境情報の蓄積への寄与を目的に、環境学習会を開催している。

環境学習会の対象は、28 年までは、堰周辺の小学校に通う小学 4 年生から 6 年生及びその保護者または引率者、元年からは、加古川市、明石市、高砂市、稲美町、播磨町の小学 3 年生～6 年生及びその保護者または引率者としている。

環境学習会では、調査項目と下記の項目を設定し、学習会参加者と協働で実施している。

- 水生生物採捕：投網、タモ網、定置網等による採捕（種の同定等）
- 物理環境：水温、透視度、水深、川底の状態、流速、濁り、臭い等

環境学習会の場所は、大堰の下流付近と下流の支川である草谷川合流部付近としている。

平成 29 年度は 66 名、令和元年度は 100 名、令和 3 年度は 120 人が参加している（前掲の図 7.4-6 を参照）。なお、令和 2 年度は新型コロナウイルスの流行により中止となった。

今後も、継続的に環境学習会を実施することで、地域の河川への関心と啓発及び環境情報の共有を図る場、加えて、外来種対策等の啓発の重要性を理解する場を提供することが重要と考えている。

サマーフェスティバル in 加古川大堰
参加者募集!
 参加費 無料
 加古川の良さをみんなで学ぼう

●川の魚の観察とアユ・ニジマスのふれあい体験●

※ **令和 3 年 9 月 12 日(日)**
 午前 8 時 00 分～12 時 00 分
 (参加定員 60 名)

(内 容)
 1. 加古川大堰の堰脚と下流域の川に棲む魚の採捕観察
 2. 堰脚による多様な環境の生物の分類と観察、および観察の実践と体験
 3. 河川魚の清掃活動を通じ環境保全活動の体験
 4. アユ・ニジマスのふれあい体験と試食を楽しむ
(対 象)
 小学 3 年生から 6 年生とします。保護者同伴でお願いします。
(申込方法)
 募集の参加申込用紙に記入して、FAX でお送りください。
(新型コロナウイルス感染拡大防止対策)
 マスク着用、検温、手指消毒、授業前新型コロナウイルス速報システムへの登録をお願いします。

(当日の集合)
 加古川大堰管理棟前で、午前 7 時 30 分より 8 時まで受付します。(駐車場が利用できます。最前朝顔) 小物は受け付けますが、雨天時に中止する場合は前日までに連絡します。
(服装)
 水の中に入りますので、濡れてもよい服装。足元は濡れてもよい靴をご用意ください。
(持ち物)
 飲み物・帽子・タオル・雨具・着替えなどは各自ご用意ください。
 アミやバケツは用意していますが、持ち込みもできます。

加古川の河川環境を守る会事務局
 (加古川魚業協同組合内)
 所在地：西脇市野村町 1244-1 電話：0795-22-2572
 FAX：0795-23-3674

国土交通省姫路河川国道事務所
 電話：079-438-0207

※10月3日に延期となったため、実際の開催日とは異なる。

(出典:資料 7-9)

図 7.4-8 環境学習会開催の案内例（令和 3 年度版）



令和3年度の実績：計120名
 ○調査の概要
 地域連携プログラムによる加古川市在住の小学生とその保護者、加古川の河川環境を守る会、こころ豊かな人づくり500人委員東播磨08会、国土交通省の合同の水生物調査で、加古川大堰下流で実施。

(出典：資料7-9)

図 7.4-9 環境学習会の様子

(4) 広報活動

令和3年度では、加古川大堰の広報活動の一環として、地域の小学校に訪問し、地域と連携・協働した環境学習講座をしている。

図 7.4-13 には小学校6年生を対象とした「職業人と語ろう」において、加古川大堰管理者として環境学習講座を実施した様子を示す。

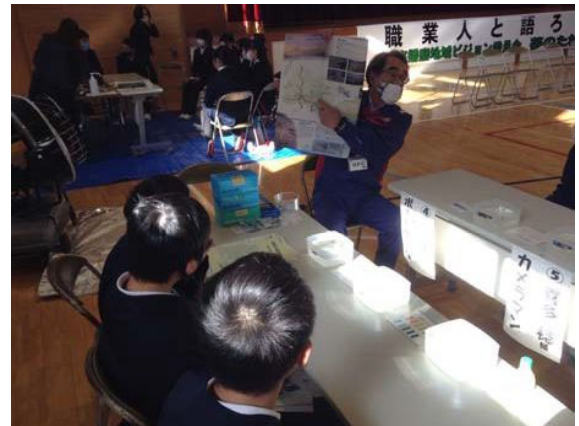


図 7.4-10 環境学習講座（職業人と語ろう）の様子

■参考：環境学習会（サマーフェスティバル in 加古川大堰）後のアンケート結果

環境学習会後に参加者（小学生）と保護者にアンケートを配布した。令和3年度では合計97名より回答いただいた。

●参加者の声

- ・とったものを自由研究に出してみたいです。(H29)
- ・調査に参加して魚の生態を調べられたのは良かった。(R1)
- ・生き物とのふれあいが楽しかった。(R3)
- ・川のことについていろいろ知れた。川の生き物はとっても小さいのもいて楽しかったです。(R3)

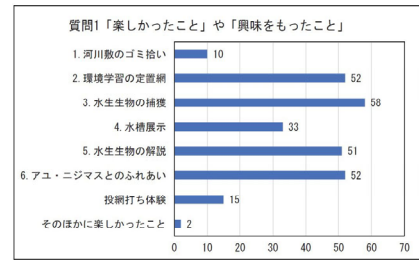


図 7.4-11 アンケート集計例

↓↓どちらかに○をつけてください。↓↓

記入者：1.おとな ②.こども（小学生）

質問1「楽しかったこと」や「興味をもったこと」について○をつけてください。
(いくつ○をつけても良いです。)

1. 河川敷のゴミ拾い	②. 環境学習の定置網	3. 水生生物の捕獲
4. 水槽展示	5. 水生生物の解説	⑥. アユ・ニジマスとのふれあい
7. 投網打ち体験	8. その他に楽しかったこと	

質問2 今日イベントに参加して、どう思いましたか？あてはまるところに○をつけてください。

(1) ①. たのしかった	2. どちらとも言えない	3. たのしくなかった
(2) ①. 勉強になった	2. どちらとも言えない	3. 勉強にならなかった
(3) ①. またやってみたい	2. どちらとも言えない	3. もうやりたくない
(4) ①. 思っていたより川の水はきれいに感じた	2. どちらとも言えない	3. 思っていたより川の水はきたなく感じた
(5) ①. もっと水がきれいになればいいなと思った	2. どちらとも言えない	3. 水のきれいさはこのままでいいと思った
(6) ①. この川へまた来てみたいと思った	2. どちらとも言えない	3. この川へ来ることはもつないと思う
(7) ①. アユ・ニジマスのつかみ取りはたのしかった	2. どちらとも言えない	3. アユ・ニジマスのつかみ取りはたのしくなかった
(8) ①. イベントの開催時間は、ちょうど良い	2. イベントの開催時間は長すぎるので、もっと短くしてほしい	3. イベントの開催時間は短すぎるので、もっと長くしてほしい

質問3 説明はわかりやすかったですか？あてはまるところに○をつけてください。

(1) 調査のやり方についての説明はどうでしたか？

①. とてもわかりやすかった 2. わかりやすかった 3. 少しむずかしかった 4. むずかしかった

(2) 調査の結果についての説明はどうでしたか？

①. とてもわかりやすかった 2. わかりやすかった 3. 少しむずかしかった 4. むずかしかった

(3) 今日の調査場所の水がきれいかどうか、わかりましたか？

①. とてもわかりやすかった 2. わかりやすかった 3. 少しむずかしかった 4. むずかしかった

質問4 今日の感想を自由に記入してください。

川のことについていろいろ知れた。川の生き物はとても小さいのもいて楽しかったです

書き終わったアンケートは係員に渡してください。今日はありがとうございました。

2021.10.3(日)サマーフェスティバル in 加古川大堰

(出典：資料 7-13)

図 7.4-12 環境学習会の参加者アンケート (R3 年度)

(5) 地域への情報提供

加古川大堰の広報用資料等を図 7.4-13 に、ダムカードの配布状況を図 7.4-14 に示す。

加古川大堰では、パンフレット、ダムカードのほか、姫路河川国道事務所のホームページ (<https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/index.php>) を通じて、地域や来訪者に向けた情報提供を行っている。

加古川大堰でも、他ダムと同様にダムカードの配布を平成 22 年 2 月より実施している。平成 26 年度以降、年間の配布枚数は 500 枚以上と顕著に増加し、累計配布枚数は令和 3 年度までに 5,430 枚に達している。

また、運用開始から 30 周年を迎えたことを記念し「加古川大堰 30 周年記念ダムカード」を作成し、令和元年度まで配布した。

今後も広報資料等を活用しつつ、地域や来訪者に適切かつ丁寧な情報提供を行うことが重要と考えている。

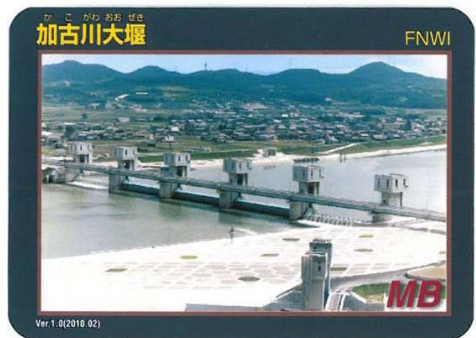
■パンフレット等



■ホームページ(姫路河川国道事務所)



■ダムカード



■ダムカード (30 周年記念カード)



図 7.4-13 加古川大堰の広報資料等

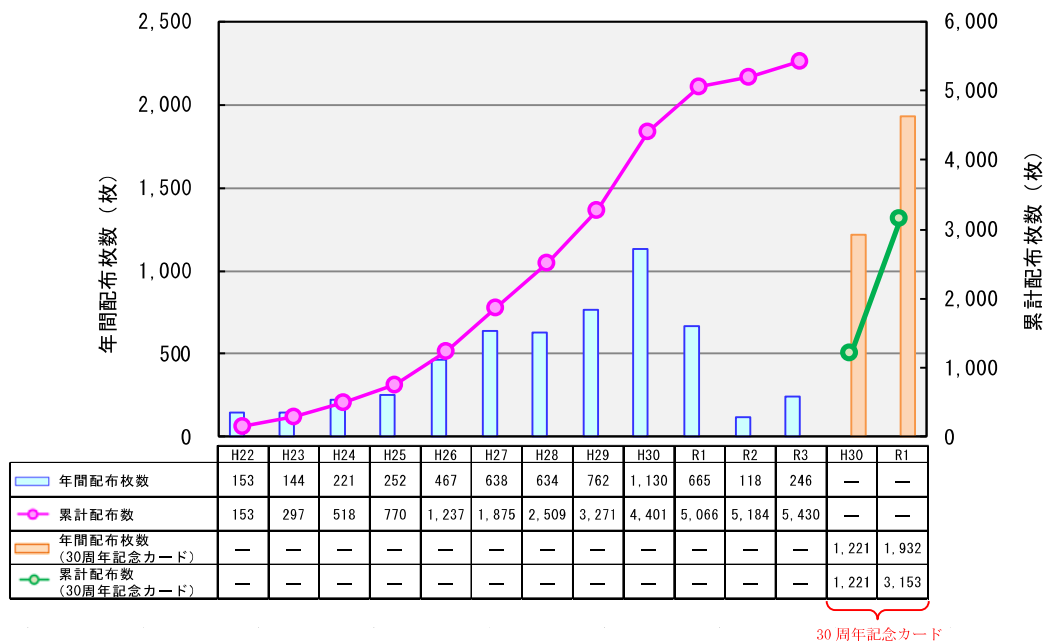
(出典:資料 7-10)

加古川大堰のダムカードの配布枚数は図 7.4-14 に示すとおりである。配布枚数は平成 30 年までは毎年増加していたが、令和元年度は 665 枚と減少した。

令和 2 年度では 118 枚、令和 3 年度では 246 枚とさらに減少したが、これは新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりダムカードの配布を一時期休止していたことが要因と考えられる。

(ダムカード配布休止期間)

- ・令和 2 年 2 月 28 日～10 月 31 日
- ・令和 3 年 1 月 14 日～3 月 7 日 (緊急事態宣言中)
- ・令和 3 年 4 月 26 日～6 月 20 日 (緊急事態宣言中)
- ・令和 3 年 8 月 20 日～9 月 30 日 (緊急事態宣言中)



30周年記念カード

(出典:資料 7-11)

図 7.4-14 加古川大堰のダムカードの配布状況

(6) 加古川大堰検定

広報活動の一環として、令和2年度より加古川大堰検定（初級・上級）を実施している。

新型コロナウイルスの影響もあり、令和2年度における検定認定書の配布数は2枚であったが、令和3年度においては配布数50枚（初級：29枚、上級：21枚）であった。

加古川大堰検定の案内書を図7.4-15に示す。



かこがわ おおぜき けんてい

加古川大堰検定

【日時/場所】
平日 9時～17時（12時～13時除く）
加古川大堰管理棟1階

**参加自由
参加料無料**

【内容】
加古川大堰に関する問題
（加古川大堰の役割、加古川の歴史、加古川にすんでいる魚について等）

いずれも3択問題

- ・初級 ... 10問
（主にリーフレットやパンフレット等からの問題）
※8問正解で「加古川大堰検定初級」を認定
- ・上級 ... 15問
（主にパンフレットやホームページ等からの少し難しい問題）
※12問正解で「加古川大堰検定上級」を認定

採点后、認定された方には「加古川大堰検定認定書」を差し上げます！

どなたも認定書が4枚お楽しみ！

我闘してね♪

国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所
河川管理第二課（加古川分室）
〒675-1205 加古川市八幡町中西条875-1
TEL 079-438-0207

おおぜきくん

図 7.4-15 加古川大堰検定の案内

■参考：2022年7月にBAN-BANテレビにて加古川大堰が特集された。



(7) 記念イベントの開催

加古川大堰では、平成30年7月28日に、地域にこれまでの管理報告を行うとともに、今後、地域の財産としてより一層の堰に対する関心の向上を期待して参加型の学習の場となる完成30周年の記念イベントを予定していたが、台風接近に伴い中止となった。

このような記念イベントを通じて、地域との交流や地域の堰への関心の向上を図ることが重要と考えている。

加古川大堰30周年記念イベント

加古川大堰が完成して今年で30周年となります。それを記念して、加古川大堰30周年記念イベントを実施します。たくさんのご参加をお待ちしております。

参加無料

for the NEXT

実施日時 2018年7月28日(土) 10:00~14:00 (受付9:30) ※小雨決行
 中止の場合は、淀川河川国道事務所ホームページにて、当日午前7時にお知らせします。【高砂町西】国道事務所

場所 加古川大堰周辺 (加古川市八幡町中西条875-1)

オープニングセレモニー (10:00~) 加古川市立八幡小学校「YAHATAっこバンド」による記念演奏

加古川をボートで探検 (Eボート) 先着48名
 加古川大堰見学会 先着120名
 防犯車両・パトロールカーの展示、操作体験
 温水体験、川遊び体験

①11:00~ ②11:15~
 ③12:00~ ④12:05~
 ⑤12:50~ ⑥12:55~

先着48名
 川をボートで探検し、大堰の様子を
 探検時間 20分程度
 乗船予約市団地時間 9:30~
 ※悪天候時は中止となります。

①11:00~ ②11:40~
 ③12:20~

当日定員40名
 所要時間 60分程度
 参加費 無料
 ※参加費は、なくなり次第、終了となります。

※天候や川の状況により内容を変更する場合があります。
 ※温水体験、川遊びに参加される方は、濡れごもい、服装、着替えを準備して参加してください。

記念ダムカードのプレゼントもあるよ

実施場所 加古川大堰

駐車位置 加古川大堰管理棟

主催：国土交通省淀川河川国道事務所
 お問い合わせ先 淀川河川国道事務所 30古川大堰
 電話 079-438-0207

(出典：資料7-10)

図 7.4-16 「加古川大堰 30 周年感謝のつどい」の開催案内 (中止)

7.5 堰周辺の状況

7.5.1 周辺環境整備等の状況

加古川大堰周辺の整備状況を図 7.5-1 に示す。

加古川大堰では、堰の建設時に堰の左岸側の「管理棟周辺」及び「大堰記念公園」の2箇所の周辺環境の整備を実施した。

(1) 管理棟周辺

管理棟周辺は、加古川下流部の流水管理の中心にふさわしい環境整備として、以下の基本方針で整備を行った。

- ・大堰の維持管理機能を損わないこと。
- ・周辺の河川、地域空間とマッチした“みどりの空間”を創出すること。
- ・季節感が感じられ、豊かな情景のある植栽計画とすること。
- ・地形変化をつけ、スケール感のある空間とすること。

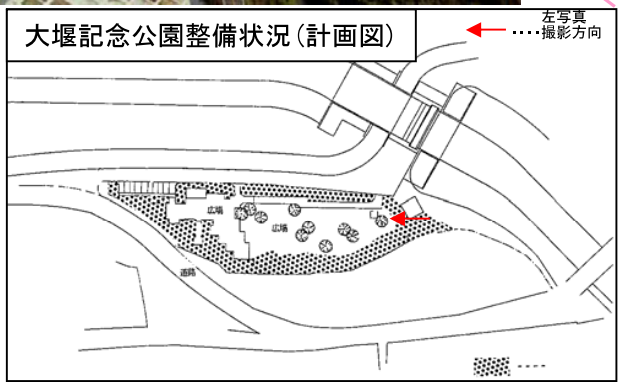
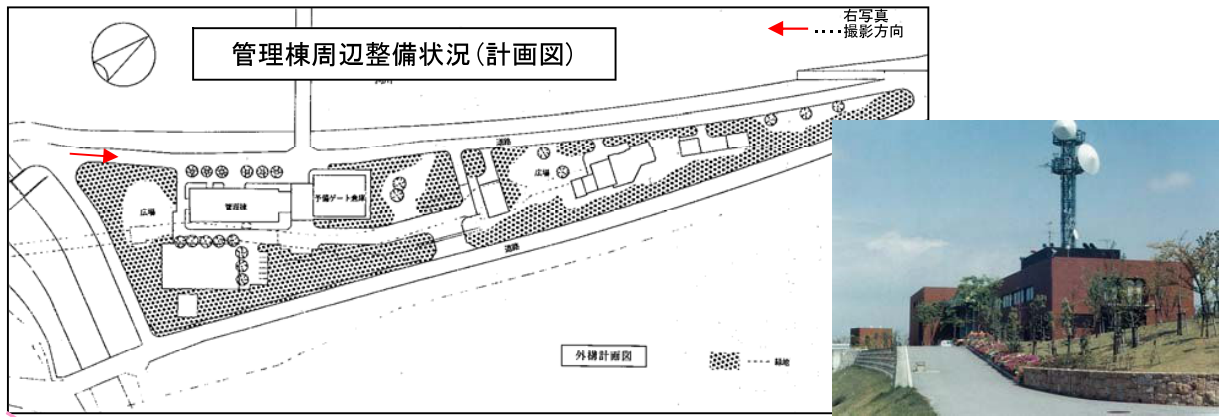
ゾーニング計画にあたって、管理棟及び周辺の施設の本来の機能に十分に配慮するとともに、管理用の大型トレーラー、見学バス等の大型車両の通行、並びに調和のとれた修景が確保出来るよう配慮した。

(2) 大堰記念公園

大堰管理棟下流部左岸(11.6k付近)の面積約0.42haの敷地を加古川大堰記念公園として整備した。公園内には、大堰事業で撤去される五ヶ井堰、上部井堰にまつわる施設、モニュメントを建設した。

大堰記念公園は以下の基本方針で整備を行った。

- ・記念公園の名にふさわしい修景、植栽計画とする他、撤去される堰にまつわる事柄をイメージするモニュメントを計画する。
- ・周辺住民の日常的な利用ならびに将来の加古川大堰周辺河川緑地の中心的な部分となるよう計画する。
- ・広域的な利用を考慮して駐車スペースも計画する。



※加古川大堰周辺の写真は令和3年度年次報告書より引用
(出典:資料 7-4、7-12)

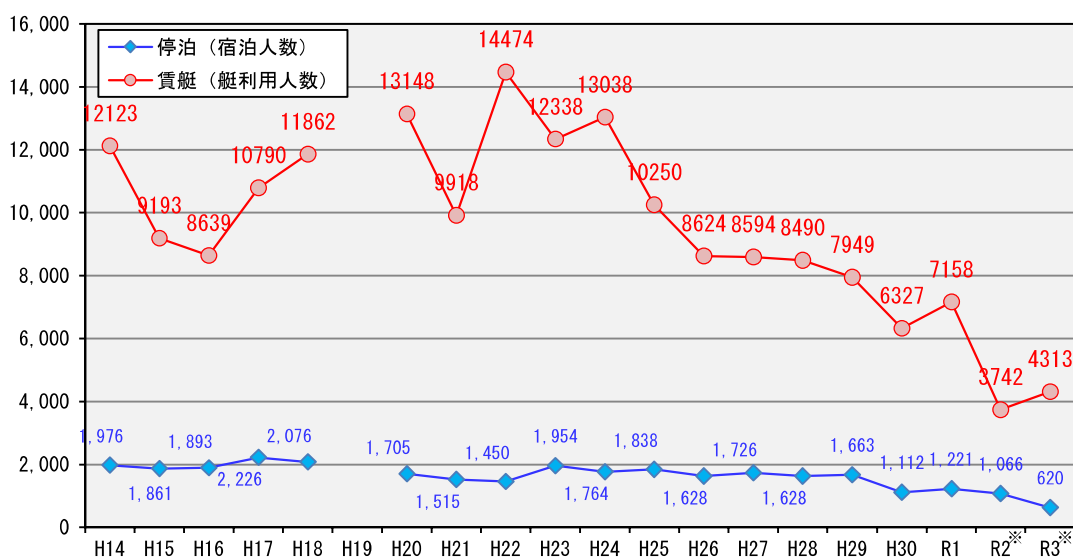
図 7.5-1 加古川大堰周辺環境整備の状況

7.5.2 堰周辺の施設の利用状況

加古川大堰の上流部にある「加古川市立漕艇センター」の経年の利用状況を図 7.5-2 に、加古川マラソンの経年の参加者数を図 7.5-3 に示す。

加古川大堰の堰上流部の水面は、川幅 200m、水深 2~5m、直線 2,000m 等の諸条件がボート競技に適しており、日本漕艇協会から公認コース B 級(1,000m×5 レーン)の認定を受けている。大堰の水面を利用し、市内外から多数の参加者がある夏の加古川市民レガッタ、秋の加古川レガッタ（関西学生リーグ）等の多くの漕艇のイベントが開催されている。また、漕艇の利用者の窓口、ボートの貸し出し、宿泊施設の提供等のため、堰の上流部に「加古川市立漕艇センター」が設置されている。漕艇センターの利用者数は、減少傾向にあるものの、令和元年度は 8,000 人を超えている。しかし、令和 2 年度以降は新型コロナウイルスの影響により大幅に利用者数が減少した。

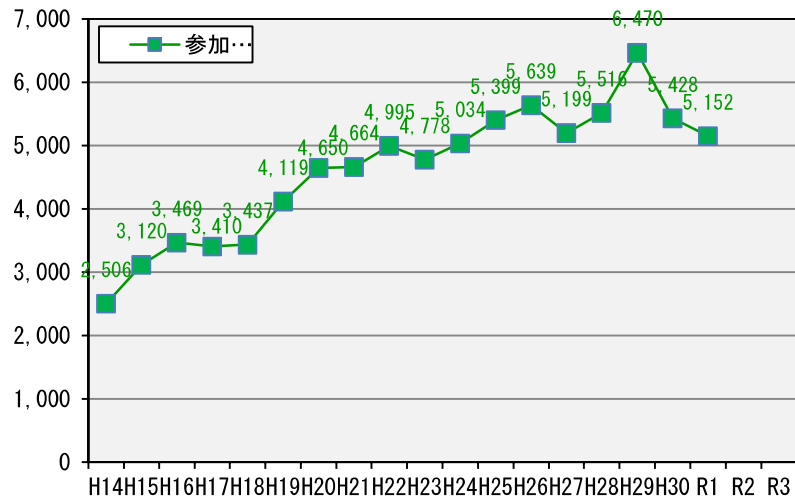
加古川に整備される緊急用河川敷道路は、「加古川みなもロード 県立加古川河川敷マラソンコース」として利用されており、コースには加古川大堰の管理用道路も含まれている。マラソンコースでは、市内外から多数の参加者がある「加古川マラソン」が、毎年 12 月 23 日には開催されている。「加古川マラソン」の参加者数は、徐々に増加し、平成 24 年度以降は 5,000 人を超えており、令和元年度は 5,152 人となっている。なお、令和 2 年度および令和 3 年度は新型コロナウイルスの流行に伴い中止としている。



※令和 2、3 年度は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言等で利用者が減少

(出典:資料 7-7)

図 7.5-2 加古川市立漕艇センターの経年の利用状況



(出典:資料 7-7)

図 7.5-3 加古川マラソンの経年の参加状況

■平成 29 年度に実施された浚渫工事について

平成 29 年 3 月～5 月に、堰の貯水池容量確保を目的に実施された浚渫工事により、2,000m コースも使用可能となっている。平成 29 年 7 月 29 日～30 日に開催された「加古川レガッタ」では、「漕ぎ初め」の記念セレモニーも実施されている。



(出典:資料 7-10)

7.6 河川水辺の国勢調査(河川空間利用実態調査)結果

7.6.1 河川空間利用実態調査

(1)「河川空間利用実態調査」の概要

「河川空間利用実態調査」とは、国土交通省が管理する一級河川(水系)において、河川空間の利用状況の実態を把握し、良好な河川空間の保全・整備に資することを目的に実施するもので、平成22年度からは5年に1回の間隔で、全国一斉に指定された計7日の調査日に河川利用者数を把握するための調査である。調査実施日は下記のとおりである。

- 春季：4月29日(昭和の日)、5月5日(こどもの日)、5月の第3月曜日(平日)
- 夏季：7月最終日曜日(休日)、7月最終日曜日の翌日(平日)
- 秋季：11月3日(文化の日)
- 冬季：1月の成人の日に指定された休日

詳細の調査方法は、「平成30年度版 河川水辺の国勢調査マニュアル(案)(河川空間利用実態調査編)」に示されており、概要は下記のとおりである。

- 河川を数ブロックに分割する。
- ブロック内を自然的利用区域と施設の利用区域に区分する。
- ブロックの利用区域毎に平均的利用状況を代表する定点(1km程度の距離)を設定する。
- 定点観測：定点において、日の出から日没までの間を2時間毎に区切り、利用者数の観測を行う。
- 区間観測：定点以外の区間については、1日1回、調査員が移動しながら、利用者数を観測する。定点とその他の区間との1日の利用者数の時間区分が同じと考え、区間観測した時刻と同時刻帯の定点観測の値との比より、区間観測1日の利用者数総数を推計する。
- その他、他の区域に比べて、特に利用者の多い特定利用区域や有料施設区域については、それぞれ1日の利用者数を集計する。
- 以上の定点観測、区間観測の調査結果の値を合計し、各ブロックの利用者数を求める。

(2) 経年の調査結果

加古川大堰周辺での河川空間利用実態調査における年間利用者数の推計値の経年の状況を図7.6-1に示す。

加古川大堰周辺の年間利用者数の推計値は、堰を含む10km～16kmの区間の各調査日の利用者数の計測値より、「平成30年度版 河川水辺の国勢調査マニュアル(案)(河川空間利用実態調査編)」に準じた計算式に基づき、算出している。年間の天気については、日積算降水量5mm未満の日を「晴」、5mm以上を「雨」として計算している。

年間利用者数の推計値は、平成15年度が80万1千人、平成18年度が71万5千人、平成21年度が49万9千人、平成26年度が38万3千人と徐々に減少傾向であったが、令和元年度では53万5千人に増加した。

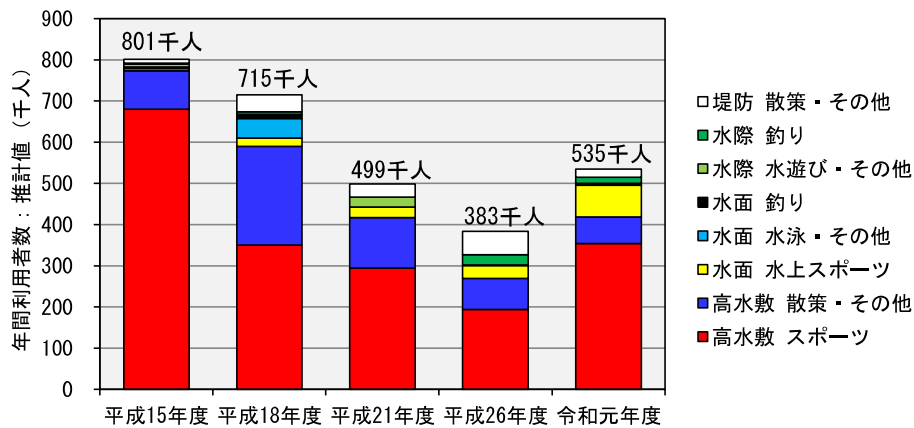
平成26年度と令和元年度を比較すると、高水敷でのスポーツ、水面・水上スポーツでの利用者数の増加が顕著であった。加古川大堰下流の高水敷には、両岸にスポーツや散策で利用できる河川敷緑地が整備されている。平成26年度は、令和元年度と比較し、「雨」の日が5日多く、年

間を通じて、天候が不順な日も多かったことから、河川敷緑地の利用者が減少したことに起因する可能性がある。

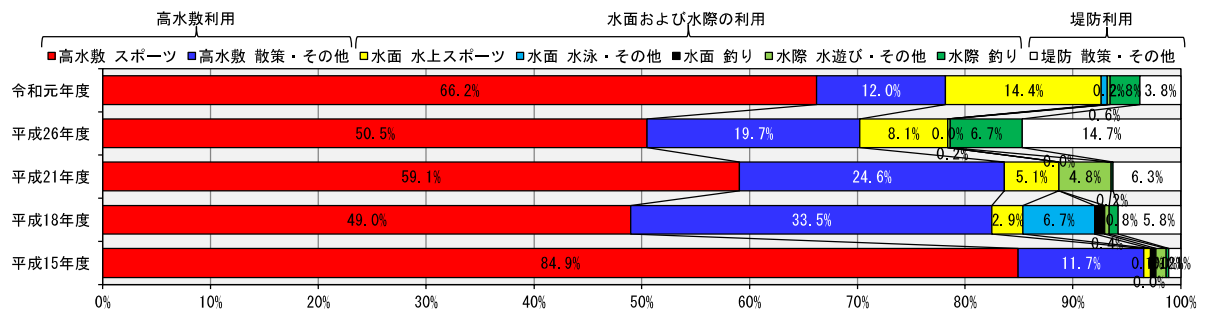
加古川大堰周辺の利用者数の特徴としては、水面のスポーツでの割合が多いことに挙げられる。令和元年度も全体の利用者の 14.4%を占めており、大堰の湛水域の水面をレガッタ等の漕艇で楽しむ利用者が多い状況がうかがえる。

また、令和元年度は高水敷でのスポーツ利用が増加しており、平成 26 年度の 50.5%から 66.2%と顕著に増加しており、近年の健康志向により、ランニングやサイクリングで利用する人が増加している状況がうかがえる。

■年間利用者数の推計値の推移



■年間利用者数の推計値割合の推移



(出典:資料 7-13)

図 7.6-1 加古川大堰周辺の利用状況

7.6.2 川の通信簿

(1) 「川の通信簿」の概要

「川の通信簿」とは、河川内で利用が想定される箇所を選定し、市民と河川管理者が、現地において共同して河川の利用のしやすさを5段階で評価したもので、平成15年度に第1回目の調査が行われている。

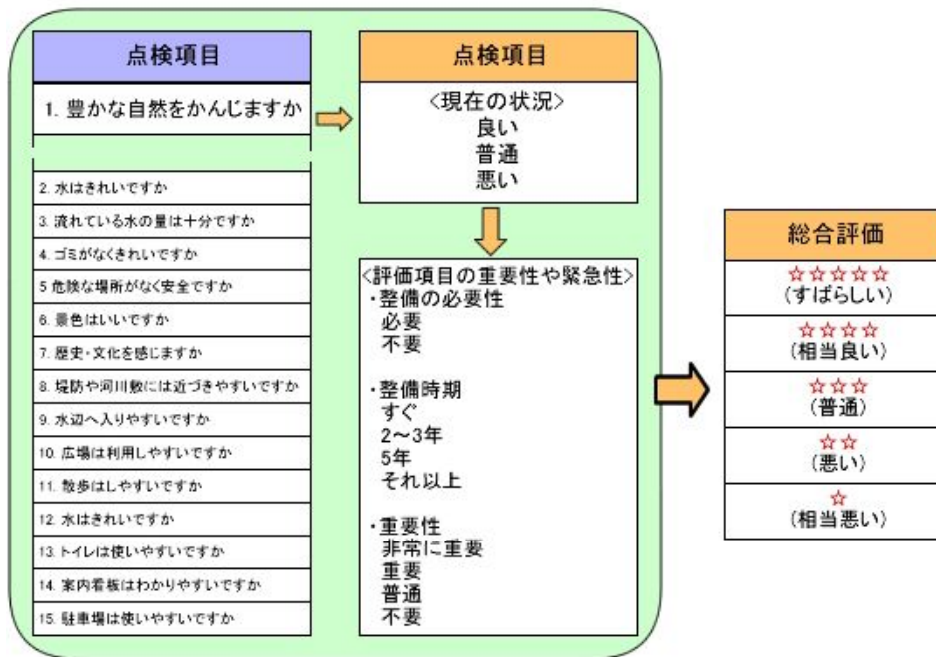
目的と点検項目は以下のとおりである。

○「川の通信簿」の目的

全国の河川空間の親しみやすさや快適性などを現地において市民と共同でアンケート調査を実施した結果から、良い点・悪い点を把握し、河川整備計画や日常の維持管理等に反映することにより、良好な河川空間の保全、整備、管理を図る。

○「川の通信簿」の点検項目

15の点検項目があり、それらの重要度、良い悪いなどの状態、整備の必要性を点検し、最後に5段階評価を行っている。(下図参照)



※この通信簿は、点検者が主観的に評価するものであり、川の優劣をつけるものではない。

(出典:資料7-13)

図 7.6-2 川の通信簿の点検項目

(2) 経年の点検結果

加古川大堰周辺の川の通信簿の対象調査地区を図 7.6-3 に、令和元年度の点検結果となる通信簿を図 7.6-4 に、経年の点検評価一覧を表 7.6-1 に示す。

加古川大堰周辺の川の通信簿の調査地区は、堰下流の高水敷の両岸に整備された「加古川河川敷緑地（両荘地区）」と「加古川河川敷緑地（新神野地区）」の2箇所が該当する。

令和元年度の点検結果となる通信簿について、「加古川河川敷緑地（両荘地区）」は、「相当良い。満足感を味わえる」と「☆☆☆☆（四つ星）」の評価となっている。良い点としては、「施設が利用しやすい」、「除草等、手入れが行き届いている」、「開放的で子供たちもいっぱい体を動かすことができる」等の意見を頂いている。また、悪い点としては、「ベンチなどに屋根が欲しい」、「休憩施設が少ない」等の意見もいただいている。課題として、木陰やベンチ等の休憩施設やトイレの整備、水辺の安全確保のための工夫等が上げられている。

「加古川河川敷緑地（新神野地区）」は、「相当良い。満足感を味わえる」と「☆☆☆☆（四つ星）」の評価となっている。良い点としては、「駐車場や広場が良く整備してある」、「広く、景色がよい」、「遊びやすい」等の意見を頂いている。また、悪い点としては、「ゴミが多く汚い」、「利用者のマナーが悪い」、「ベンチなどの休憩施設が欲しい」等の意見を頂いている。

経年の点検結果の成績表では、両地区とも、評価は「☆☆☆☆（四つ星）：相当良い、満足感を味わえる」と、概ね良好な成績となっており、地域のスポーツや散策を楽しむ場として機能しているものと考えられる。



(出典:資料 7-13)

図 7.6-3 「川の通信簿」点検箇所位置

～川の親しみやすさの成績表～

川の通信簿

箇所名： 加古川河川敷緑地(両荘地区)

豊かな自然の中でスポーツができる河川敷緑地

■加古川河川敷緑地(両荘地区)はこんな所

河川名	1級河川加古川水系加古川右岸9.6K-145m-12.0K+186.3m
所在地	加古川市平荘町里～上荘町都染地先
アクセス	JR神野駅より徒歩30分
面積	241,857.80m ²
管理者	加古川市
特徴	本緑地は、地理的条件から自転車で訪れる利用者が多いため駐車場の整備が十分になされています。また、野球場や陸上競技場などが整備され、休日には各種スポーツ愛好家などに多く利用されています。
主な利用	散歩、野球、ソフトボール、ジョギング、バーベキュー
点検参加人数	30名



■2019年現在の成績表

総合的な成績： ☆☆☆☆ (四つ星)

相当良い。満足感を味わえる。

No.	点検項目	現在の状況			整備 必要 %	重要度			
		良い	普通	悪い		非常に 重要	重要	普通	不要
1	豊かな自然を感じますか	○			10%		○		
2	水はきれいですか		○		17%		○		
3	流れている水の量は十分ですか		○		3%			○	
4	ゴミがなくきれいですか		○		23%		○		
5	危険な場所がなく安全ですか		○		17%		○		
6	景色はいいですか	○			3%		○		
7	歴史・文化を感じますか		○		3%			○	
8	堤防や河川敷には近づきやすいですか		○		10%		○		
9	水辺へ入りやすいですか		○		17%			○	
10	広場は利用しやすいですか	○			13%		○		
11	休憩施設や本陰は十分ですか			○	63%		○		
12	散歩はしやすいですか	○			3%		○		
13	トイレは使いやすいですか		○		57%		○		
14	案内看板はわかりやすいですか		○		13%		○		
15	駐車場は使いやすいですか		○		13%		○		

○ 良い点

○ 悪い点

■特に良い点

- ・自然が豊か。散歩しやすい。
- ・自然を感じ、のびのびとスポーツができる。
- ・公園、駐車場が広く利用しやすい。
- ・公園へのアクセスが良い。
- ・グラウンドが多い。

■特に悪い点

- ・トイレが汚い。洗い場が少ない。
- ・木陰、ベンチが少ない。堤防道路に違法駐車。
- ・水揚げが悪い。
- ・グラウンドの整備、除草の回数を増やして欲しい。
- ・グラウンドを直前にキャンセルをする人がおり、予約体制の見直しをして欲しい。
- ・バーベキュー後のゴミや流木が多い。

■総合コメント

広々とした高水敷に陸上競技場や野球場などスポーツ施設が整備しており、スポーツには最適な緑地で、除草などの手入れも行き届いています。
5つ星にするためには、木陰やベンチなどの休憩施設やトイレの整備、水辺の安全確保のための工夫が必要です。

(出典:資料 7-13)

図 7.6-4 (1) 令和元年度の通信簿

～川の親しみやすさの成績表～

川の通信簿

箇所名： 加古川河川敷緑地(新神野地区)

広々とした緑いっぱいの河川敷緑地

■加古川河川敷緑地(新神野地区)はこんな所

河川名	1級河川加古川水系加古川左岸9.4K~11.2K+135m
所在地	加古川市新神野地先
アクセス	JR神野駅より徒歩20分
面積	101,439.33m ²
管理者	加古川市
特徴	本緑地は、加古川を代表する河川公園で、散策等で多くの市民に利用されています。特に、犬の散歩場所として利用されることが多い公園です。
主な利用	つり、散策、ジョギング、バーベキュー
点検参加人数	30名



■2019年現在の成績表

総合的な成績： ☆☆☆☆ (四つ星)

相当良い。満足感を味わえる。

No.	点検項目	現在の状況			整備必要%	重要度			
		良い	普通	悪い		非常に重要	重要	普通	不要
1	豊かな自然を感じますか	○			13%			○	
2	水はきれいですか		○		27%			○	
3	流れている水の量は十分ですか		○		10%			○	
4	ゴミがなくきれいですか		○		40%		○		
5	危険な場所がなく安全ですか		○		27%		○		
6	景色はいいですか	○			13%			○	
7	歴史・文化を感じますか		○		13%			○	
8	堤防や河川敷には近づきやすいですか	○			10%			○	
9	水辺へ入りやすいですか		○		20%			○	
10	広場は利用しやすいですか	○			27%		○		
11	休憩施設や木陰は十分ですか		○		50%		○		
12	散歩はしやすいですか	○			10%			○	
13	トイレは使いやすいですか		○		40%		○		
14	案内看板はわかりやすいですか		○		20%			○	
15	駐車場は使いやすいですか		○		3%			○	

良い点

悪い点

■特に良い点

- ・ジョギングや自転車で走りやすい。
- ・よく整備されている。
- ・マラソンコースがきれい。
- ・車が来ない。

■特に悪い点

- ・木陰がない。
- ・東屋周辺や遊歩道橋の草刈りが足りない。
- ・犬を散歩する方のマナーが悪い。
- ・自動販売機がない。

■総合コメント

広々として緑が多く、利用しやすい河川敷緑地となっています。
5つ星にするためには、休憩施設の整備に加え、利用者のマナーを向上させる工夫が必要です。

(出典:資料 7-13)

図 7.6-5 (2) 令和元年度の通信簿

表 7.6-1 経年での点検評価一覧（川の通信簿 成績表）

No.	点検項目	両荘地区（右岸）					新神野地区（左岸）				
		H15	H18	H21	H26	R1	H15	H18	H21	H26	R1
1	豊かな自然を感じますか	○		○		○	○		○		○
2	水はきれいですか										
3	流れている水の量は十分ですか										
4	ゴミがなくきれいですか		×								
5	危険な場所がなく安全ですか			○							
6	景色はいいですか	○		○		○	○		○		○
7	歴史・文化を感じますか	×					×		○		
8	堤防や河川敷には近づきやすいですか		○	○							○
9	水辺へ入りやすいですか						×	×	×	×	
10	広場は利用しやすいですか	○		○	○	○	○		○		○
11	休憩施設や木陰は十分ですか		×	×		×		×	×		
12	散歩はしやすいですか	○		○	○	○	○	○	○	○	○
13	トイレは使いやすいですか								×		
14	案内看板はわかりやすいですか										
15	駐車場は使いやすいですか			○			○		○		
-	総合評価	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆
-	点検者数	n=21	n=20	n=20	n=25	n=30	n=20	n=20	n=22	n=24	n=30

- 注 1) ○：調査年で、「現在の状況＝良い」＋「重要度＝非常に重要 or 重要」と評価された項目を示す。
 注 2) ×：調査年で、「現在の状況＝悪い」＋「整備必要＝50%以上」＋「重要度＝非常に重要 or 重要」と評価された項目を示す。
 注 3) 総合評価：点検者各自による定性的な 5 段階評価の平均値。点検項目にある○×の数に相関性はない。
 注 4) ☆☆☆：総合的な成績に基づき、「相当良い。満足感を味わえる」という評価となったことを示す。
 注 5) ☆☆☆：総合的な成績に基づき、「かなり良い部分があり、一定の満足感が味わえる」という評価となったことを示す。

（出典：資料 7-13）

■参考：水辺の関わるご意見について

川の通信簿での点検者の水辺に関するご意見の一覧を表 7.6-2 に示す。

加古川大堰の直下流に位置する河川敷緑地に、地域住民が親子で水辺に親しむ環境や要望に係る状況を把握するため、川の通信簿で実施されている点検者の既往のご意見を確認し、水辺に関するご意見を参考資料として、整理した。

水辺に関する主なご意見の概要は、次のとおりである。

1) 両荘地区

両荘地区の河川敷緑地は、ご意見を総合すると、水辺へ近づくことができる状況にあるものと考えられる。ただし、逆に水辺に近づきやすい状況が危険とするご意見や、もっと近づきやすい整備を望むご意見もあった。

2) 新神野地区

新神野地区の河川敷緑地は、ご意見を総合すると、両荘地区に比べ、水辺に近づきにくい状況にあるものの、水辺に近づける親水護岸は整備されている状況と考えられる。両荘地区に比べ、水辺に近づきにくい状況を反映し、ご意見にも水辺に近づきやすい状況を創出する整備を望むご意見が多い状況であった。

3) まとめ

両荘地区および新神野地区ともに、公園内には、水辺のアクセスに係る場の特段の整備は、これまでに行われていない。

よって、地域住民が水辺の親しむ自然的な場はあるものの、現状は子供が遊ぶには危険な状況と見なす方が多い状況にあると考えられる。整備を実施する場合は、子供が水辺に近づきやすいような目線でのアクセス路やバイリアフリーの親水護岸の設置案等が挙げられる。

なお、両荘地区では、ワンド再生に係る自然再生事業が実施されており、親水に係る整備を実施するには、自然再生事業との連携を図る必要がある。

表 7.6-2 川の通信簿での点検者の水辺に関するご意見の一覧

地区名	調査年度	水辺に係るご意見
両荘	H15	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 川の中が汚い。 ▪ 水の流れているところでは子供が危険。 ▪ もっと川べりを散歩したい
	H18	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 河畔林をきれいに整備してほしい。 ▪ 水辺に近づけるよう河畔林内に通路を設置してほしい。 ▪ 水辺で遊べるよう河畔林の間引きをしてほしい。
	H21	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 川にゴミが浮いている。
	H26	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 子供が河川に入りやすいのが危険。 ▪ 危険なので、子供が川辺に入れないように対策が必要。 ▪ 川の増水が多いので、気になる。
	R1	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 水捌けが悪い。 ▪ バーベキュー後のゴミや流木が多い。
新神野	H15	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 川の遊び場所が少ない。 ▪ 水辺に入りにくい。 ▪ 夏と冬は堰の下に水が少ない。
	H18	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 川の水量が少ない時は、悪臭がすることがある。 ▪ 子供が河畔林の中に入って遊んでいるが、看板などで安全に対する注意をすべきではないか。 ▪ 水辺に近づけるよう河畔林内に通路を設置してほしい。 ▪ 水辺で釣りなどができるよう河畔林の間引きをしてほしい。
	H21	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 堰のおかげで、河川の氾濫がなくなった。 ▪ 水辺の簡単に降りられる階段が子供にとっては危険。 ▪ 水辺に柵がなく危険。
	H26	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 川に近づけない。 ▪ 川が臭い。
	R1	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 東屋周辺や遊歩道脇の草刈りが足りない。

(出典:資料 7-13)

7.7 まとめと今後の方針

7.7.1 堰と周辺地域との関わりのまとめ

(1) まとめ

堰の湛水域は、「加古川市立漕艇センター」が整備され、漕艇場として市民に親しまれている。

堰周辺では多くのイベントが開催されており、加古川市民レガッタ、加古川マラソン、加古川ツーデーマーチ等が毎年開催されており、特に漕艇イベントでは、会場を提供するだけでなく、運営協力・安全管理等についても、地域や主催者と連携している。しかし、令和2年度より新型コロナウイルスの流行に伴い、イベントを中止する状況が続いている。

堰では、地域の小中学校に総合学習の一環として、見学会を積極的に受け入れており、また、地域連携プログラムとして、年1回の環境学習会を開催している。

(2) 今後の方針

引き続き、地域の社会環境の変化を把握していくとともに、堰周辺の環境について地域のイベントや漕艇等の場として利用に配慮し、快適な利用が継続されるよう維持管理を行っていく。

地域における堰の役割等について、新型コロナウイルス対策を徹底しながらこれまでと同様な活動を実施し、地域に広報・PRする取り組みを継続する。

7.8 文献リスト

表 7.7-1 「7. 堰と周辺地域との関わり」に使用した文献・資料リスト

NO.	文献・資料名	発行者	発行年月	引用ページ・箇所
7-1	国勢調査結果(加古川市、高砂市の産業別就業人口) http://www.stat.go.jp/index.htm	総務省統計局	—	7.1 堰周辺地域の概況 (2)人口 (3)産業 ■参考:堰周辺の小地域単位の人口動態について
7-2	パンフレット「加古川」	姫路河川国道事務所	—	7.2 堰の立地特性 (2)周辺の観光施設(スポット)等の状況
7-3	観光客動態調査 https://web.pref.hyogo.lg.jp	兵庫県	—	7.2 堰の立地特性 ■参考:統計データを用いた堰周辺の観光者の動態
7-4	加古川大堰工事誌	近畿地方建設局 姫路工事事務所	平成5年3月	7.3 堰事業と地域社会情勢の変遷 7.5.1 周辺環境整備等の状況
7-5	加古川市総合計画[2016-2020]	加古川市	令和3年3月	7.4.1 地域における堰の位置づけに関する整理 (1)加古川市総合計画(平成28年度版)
7-6	加古川観光協会ホームページ (http://kako-navi.jp/)	加古川観光協会	—	7.4.1 地域における堰の位置づけに関する整理 (2)わがまち加古川 70 選
7-7	加古川大堰年次報告書	姫路河川国道事務所	平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度	7.4.2 地域と堰管理者の関わり (1)イベントの開催・協力 (2)見学会の実施 7.5.2 堰周辺の施設の利用状況
7-8	広報かこがわ	加古川市	—	7.4.2 地域と堰管理者の関わり (1)イベントの開催・協力
7-9	加古川大堰環境調査業務報告書	姫路河川国道事務所	平成29年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度	7.4.2 地域と堰管理者の関わり (3)環境学習会の実施
7-10	姫路河川国道事務所ホームページ (http://www.himeji.kkr.mlit.go.jp/)	姫路河川国道事務所	—	7.4.2 地域と堰管理者の関わり (4)地域への情報提供 (5)記念イベントの開催 7.5.2 堰周辺の施設の利用状況 ■参考:平成29年度に実施された浚渫工事について
7-11	事務所提供資料	姫路河川国道事務所	—	7.4.2 地域と堰管理者の関わり (4)地域への情報提供
7-12	パンフレット「加古川大堰電気通信施設の概要」	姫路河川国道事務所	—	7.5 堰周辺の状況 7.5.1 周辺環境整備等の状況
7-13	河川空間利用実態調査結果	姫路河川国道事務所	平成15年度 平成18年度 平成21年度 平成26年度 令和元年度	7.6 河川水辺の国勢調査(河川空間利用実態調査結果)
7-14	BAN-BAN テレビ公式 YouTube	東播磨県民局	—	7.4.2 地域と堰管理者の関わり (6)加古川大堰検定